



「アメリカにいるキリスト」
ジェフリー・ヘーン画

復活されたキリストがアメリカ大陸のニーファイ人を訪ねたとき、「イエスは幼い子供たちを一人一人抱いて祝福し、彼らのために御父に祈られた。

そして、イエスはこれを終えると、また涙を流された。

また、イエスは群集に語って、『あなたがたの幼い子供たちを見なさい』と言われた。」(3ニーファイ 17:21-23)



メッセージ

- 4** 大管長会メッセージ——
幸せな家族になる一つの鍵
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 8** 家庭訪問メッセージ——
聖約を尊ぶ

特集

- 22** 青少年が霊的な経験ができる
ように助ける
メリッサ・メリル
わたしたちの信仰を、行動の原則
以上のものにすることができます。
- 28** アルマ書——
現代のわたしたちへの教訓
ポール・B・パイパー長老
ニーファイ人から学べる3つの教訓
は、今日の試練こんじちに立ち向かうための
助けとなります。

34 敵陣で生き抜く方法

ボイド・K・パッカー会長
自分自身で、聖霊がどのように導
きと守りを与えてくれるか、見いだ
してください。

シリーズ

- 9** 若人の強さのために——
服装と外見
- 10** 10月の大会ノート——
大会のために予定を空けておく
シェリル・バー
- 11** 教会での奉仕——
日曜学校の答え
エマ・アダムス
- 12** わたしたちが信じていること——
賢明な生活はわたしたちを
将来に備えてくれる

14 小さな、簡単なこと

16 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
純潔と徳を教える
マシュー・O・リチャードソン

20 福音クラシック——
家庭で義を教える
デルバート・L・ステープレー長老

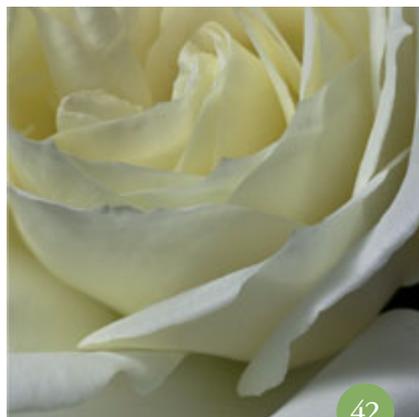
38 末日聖徒の声

74 教会のニュース

79 家庭の夕べのためのアイデア

80 また会う日まで——
良いことは続けてやって来る
ケイトリン・A・ラッシュ

表紙
フォトイラスト/コーディ・ベル



42

42 不道德な世界における純潔

8人のヤングアダルトが、純潔の重視されない世の中で、どのように慎み深い状態を保つかについて話し合います。



こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている

リアホナを
さが
搜しましょう。

ヒント——

ノアはリアホナを
つか
使ったでしょうか。

46 質疑応答

神の神権を尊ぶとはどのような意味でしょうか。

48 知識と知恵と友情を深める

ロバート・D・ヘイルズ長老

良い友達とは、戒めに添って生活するのを容易にしてくれます。

51 ダンスの服装

クリスタル・マーティン

肩が出るドレスを着る誘惑に駆られました。自分の祝福師の祝福を思い出しました。

52 若人の強さのために——

服装と外見——

「御霊の導きに従って」

メアリー・N・クック

54 御言葉により強められる

4人の10代の若人が、聖句が心に浮かび助けになったときのことを話します。

57 ポスター——まっすぐで狭い道

51



58 初等協会の卒業して、前進する

若い男性や若い女性を楽しみに待てる経験のいくつかをここにしようかします。

60 後輩のあなたへ

マリベル

初等協会から卒業するのが心配な友達への手紙

61 人生の新しい季節を

喜んでむかえる

マリッサ・ウィディソン

ノア、ディラン、パトリック、ベンは、神権を受ける備えをしています。

62 音楽——来たれ 主 イエスよ

63 とくべつな しょうにん——

どこに いても

イエス・キリストに

ちゅうじつに したがうことは、

なぜ 大切なのですか？

ダリン・H・オクス長老

64 しょうきょうかいを かていでも

——しんけんの しゅくふくは すべての人に あたえられます

66 2倍の祝福

リチャード・M・ロムニー

マダガスカルに住む10才のふた子のソフィー・Aとエロディー・Aをしようかします。

68 ぼくも バプテスマを

うけることは できないの？

ヒラリー・ワトキンス・レモン

6才のパウロは、教会いんになることを楽しみにしています。

70 ちいさな おともだちへ

81 モルモン書に 出てくる

じんぶつなどの 絵

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 830円(送料共)
普通号/大会号 120円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ liahona.lds.org からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅計盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラマ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, ス페인語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2012 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用することは複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

October 2012 Vol. 36 No. 10. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]

成人

赦しに関する大管長会メッセージを読んだ後で(4ページ), conference.lds.org (英語) にアクセスしてジェームズ・E・ファウスト管長の最後の総大会メッセージ「赦しのもたらす癒しの力」(2007年4月)を学ばうとよいでしょう。

青少年

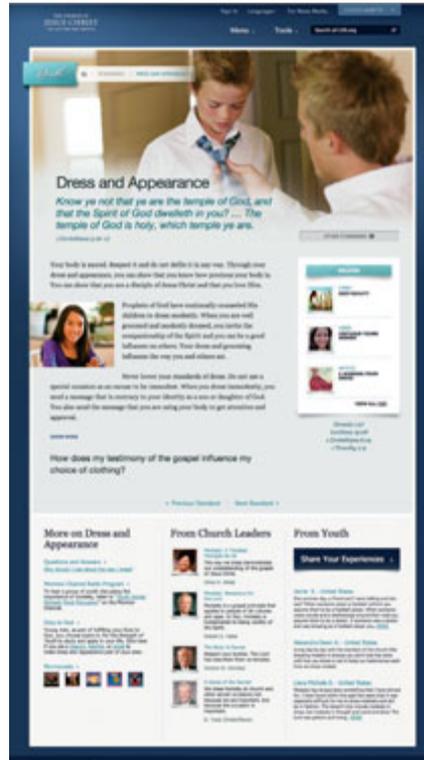
神殿で感じる敬虔な気持ちから服装に関する導きを受けることができることについて、52ページでメアリー・N・クック姉妹が説明しています。youth.lds.org (英語) にアクセスすれば、『若人の強さのために』に掲載されている「服装と外見」に関する標準や、そのほかの標準についてさらに詳しく見るすることができます。

青少年

「2倍の祝福」(66ページ)という記事で、マダガスカルに住んでいる双子のエロディーとソフィーに会ってみてください。liahona.lds.org (英語) にアクセスすれば、彼らの楽しい写真をもっと見ることができます。

あなたの言語で

languages.lds.org (英語) にアクセスすれば、『リアホナ』や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。



今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- 安息日, 40
- イエス・キリスト, 62, 63
- 祈り, 38
- 教えること, 16, 20
- 親の務め, 16, 20, 22
- 改宗・改心, 39
- 家族, 4, 16, 20, 22, 38, 66
- 逆境, 28
- 教会歴史, 14
- 指導力, 20
- 従順, 40, 57
- 純潔, 16, 42
- 準備, 12
- 自立, 12
- 神権, 46, 64
- 信仰, 39, 80
- 親切, 28
- 神殿, 8, 52
- 聖文研究, 11, 54
- 聖約, 8
- 総大会, 10
- 知恵, 48
- 友達, 48

- バプテスマ, 68
- 服装, 9, 51, 52
- 奉仕, 20, 39
- 模範, 40
- モルモン書, 28, 81
- 赦し, 4
- 預言者, 28
- 労働, 12
- 若い女性, 58, 60
- 若い男性, 58, 61





大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長

幸せな家族

になる一つの鍵

□ シアの偉大な作家レフ・トルストイは、小説『アンナ・カレーニナ』の冒頭で次のように述べています。「幸福な家庭はすべて互いに似かよったものであり、不幸な家庭はどこもその不幸のおもむきが異なっているものである。」¹ わたしには幸せな家族はすべて似ているとトルストイのように断言することはできませんが、ほとんどの家族には一つの共通点があるようです。幸せな家族は、いつも相手の不完全なところを赦し、忘れ、善なるものを探し求めるということです。

一方、不幸せな家族は、しばしば相手を非難し、恨みを抱き、過去の不快な出来事を忘れることができません。

不幸せな人は「ええ、でも……」と話し始めます。「ええ、でも彼女にどれほど深く傷つけられたか知らないでしょう」と一人が言うと、「ええ、でも彼がどんなにひどいか知らないでしょう」と別の一人が言います。

どちらも正しいのかもしれませんが、正しくないのかもしれない。

不快な思いにも様々な程度があり、心の痛みにも様々な程度があります。とはいえ、わたしたちは相手の動機について自分の中で話を作り上げることによって、怒りを正当化し、良心を満足させることがよくあるようです。相手の動機を挙げ、だからその行いは赦されない利己的なものだと非難し、同時にその一方で、自分自身の動機は純粹であり、悪意のない良いものだと自分に言い聞かせるのです。

王子の犬

ウェールズに古くから伝わる次のような話があります。13世紀のことです。王子が帰宅すると、飼い犬の顔から血が滴っていました。慌てて部屋に駆け込むと、恐ろしいことに、幼い息子の姿がなく、揺りかごがひっくり返っていました。王子は怒って剣を抜き、犬を殺しました。ところがその直後に、赤ん坊の泣き声が聞こえました。息子は生きていたのです。赤ん坊の傍らには、オオカミが死んで横たわっていました。実際には、犬は王子の赤ん坊を残忍なオオカミから守っていたのです。

劇的ではありますが、この話はあることを示しています。なぜ相手が特定の振る舞いをするのかについて、わたしたちの解釈は必ずしも事実と一致しているとは限らず、時にわたしたちは事実を知りたいとすら思わない可能性があるということです。むしろ、恨みや憤りを抱き続けることによって、怒りのうちに自分は正当だと感じるのです。こうした恨みは何か月も、あるいは何年も続くことがあります。生涯にわたって続くこともあります。

分裂してしまった家族

ある父親は、息子が教えられてきた道から離れたことが赦せませんでした。少年には父親が快く思っていない友人たちがいて、息子は父親の教えに反することをたくさん行いました。このことで父子の間に亀裂が生じ、少年は親もとを離れて暮らせるようになるとすぐに家を出て、二度と戻りま

このメッセージから教える

「毎回レッスンを準備する際、その原則が生活の中で家族や生徒が経験する出来事とどこか似たところがないだろうか」と自問してみる。」(『教師、その大いなる召し』170) 家族の人たちに、赦しについて自分やほかの人の良い経験を話してもらおうとよいでしょう。赦しがもたらす祝福を強調しながら、それらの経験について話し合ってください。最後に、互いに赦し合うことの重要性について証を述べてください。

せんでした。その後、この親子が話をすることはほとんどありませんでした。

父親は自分は正当だと感じていたでしょうか。恐らく感じていたでしょう。

息子は自分は正当だと感じていたでしょうか。恐らく感じていたでしょう。

わたしが知っているのは、父親も息子も互いに赦し合えなかったために、この家族が分裂してしまい、不幸せだったということです。彼らは互いについての苦い記憶を忘れ去ることができませんでした。愛と赦しではなく、怒りで心を満たしました。どちらも相手の人生に良い影響を及ぼす機会を自ら捨ててしまいました。二人の間の溝はとても深く広いものに思われ、それぞれ自分の感情という島で孤立し、霊的に囚われた状態になってしまいました。

幸いなことに、愛と知恵に満ちた天の永遠の御父は、この高慢な心の溝を克服する手段を与えてくださっています。大いなる無限の贖罪は、赦しと和解の究極の行為です。その重要性はわたしの理解を超えるものですが、わたしは贖罪が現実のものであり、贖罪には卓越した力があることを、魂と心を込めて証します。救い主はわたしたちの罪の贖いとして御自身をささげてくださいました。主を通して、わたしたちは赦しを得るのです。

完全な家族はない

罪を犯さない人はいません。皆さんもわたしも、だれもが間違いをします。わたしたちは皆、傷ついたことがあります。皆、人を傷つけたことがあります。

わたしたちが昇栄と永遠の命を得られるのは、救い主の犠牲によるのです。心を和らげることによって、主の道を受け入れ、高慢さを克服するとき、わたしたちは家庭と自分の生活に、和解と赦しをもたらしすることができます。もっと人を赦し、もっと進んで2マイル歩き、たとえ自分のせいでもなく先に謝り、過去の恨みを捨ててもう抱くことがないように、神が

助けてくださいます。御自分の独り子を与えてくださった神と、わたしたちのために御自分の命をささげてくださいました御子に感謝しましょう。

わたしたちは神の愛を毎日感じるができます。よく歌われる賛美歌「主の恵み、人にも分かたん」で教えられているように、² わたしたちはもう少し自分を同胞にささげられるようになる必要があるのではないのでしょうか。主はわたしたちが赦しを得るための扉を開いてくださいました。独りよがりや高慢さを捨てて、祝福に満ちたその赦しの扉を、自分が赦せず苦しんでいる相手、特に自分自身の家族全員に対して開き始めることこそ、わたしたちのなすべき正しいことなのではないのでしょうか。

最後に、幸福は完成の域に達することによって生じるのではなく、たとえ少しずつであっても、天の原則を実践することによって生じます。大管長会と十二使徒定員会は次のように宣言しています。「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。」³

赦しは、天の御父の幸福の計画に基づくこれらの簡潔な真理の中心に位置しています。赦しは諸原則を結ぶものであり、したがって人々を結びます。赦しは鍵であり、鍵のかかった扉を開きます。正直な道の出発点であり、幸せな家族への最大の望みの一つです。

神の助けを受けて、わたしたちが家庭で今よりも少し寛容になり、互いに赦し合い、そして恐らく、自分自身をも赦すことができますように。たいていの幸せな家族に見られるすばらしい共通点の一つとして、わたしたちが赦しを経験できるように祈ります。■

注

1. レフ・トルストイ『アンナ・カレーニナ(上)』木村浩訳、新潮文庫(1972年)、5
2. 「主の恵み、人にも分かたん」『賛美歌』138番
3. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129、強調付加

祈りと平安

ローレン・W

ある晩、母と口論をしてしまい、とても嫌な気分になりました。そこで祈ることにしました。不愉快で「霊的」になんてなりたくなかったのですが、祈れば気分が明るくなり、けんか腰でなくなるのは分かっていました。母が部屋を出て行った後、わたしは祈り始めました。「愛する天のお父様、今晚、お父様のもとに来たのは……。」違う。わたしは目を開け、組んでいた腕を解きました。ぎこちなく聞こえたのです。もう一度祈ってみました。「天のお父様、わたしが必要としているのは……。」それも変に聞こえました。天の御父に助けを祈り求めるのをあきらめるよう、サタンが強く働きかけてくるのを感じました。

突然、感謝を述べるようにという促しを受けました。そこでそのとおりに行くと、天の御父に感謝できるたくさんのおことがあふればかりに思い浮かんできました。御父に感謝し終えると、わたしは直面している問題について相談しました。

その後、心の中が不思議なくらい落ち着いてきました。天の御父と両親が自分を愛してくれていること、そして自分が神の子であることを知っているという温かい霊的な気持ちです。わたしは母に謝り、母の謝罪を受け入れることができました。

ゆるすと しあわせに なります

ワークドルフかんちょうは、わたしたちは かぞくの 人^{ひと}たちを ゆるさなければならぬと 教^{おし}えています。ジョセフと アンナの えらびで、かぞくが どのように かわるか 見^みてみましょう。



ジョセフと 妹^{いもうと}のアンナが いっしょに あそんでいます。ジョセフが つかっていた おもちゃを アンナが とりました。ジョセフは どうしたら よいでしょうか。

アンナのことを おこる。アンナは なきます。お母さんは、妹と けんかを したジョセフを しかります。ジョセフは よくない えらびを してしまったことを かなしく 思^{おも}います。

アンナを ゆるし、べつのおもちゃであそぶ。二人は いっしょに 楽しく あそびます。お母さんは、ジョセフが 妹に やさしくし、かぞくが なかよく すごせるように したので うれしく 思^{おも}います。ジョセフは ゆるすことを えらんで よかったと 思^{おも}います。



夕方^{ゆうがた}に なって、ジョセフと アンナは お母さんが しょくじの じゅんびを するのを 手つだわなければなりません。でも ジョセフは 手つだいません。アンナは どうしたら よいでしょうか。

お母さんに もんくを いう。アンナは どうして ひとりで 手つだわなければいけないのと言^いいます。その 話の せいで しょくじの とき、みんなが いやな 気もちに なります。

ジョセフを ゆるし、しょくじの じゅんびを手つだう。お母さんは アンナの 手つだいに かんしゃします。かぞくは しょくじの 時間を いっしょに 楽しく すごします。アンナは ゆるすことを えらんだので よい 気もちが します。

あなたの えらびは かぞくの しあわせに どのような へんかを もたらすでしょうか。

祈りをもってこの資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。



信仰・家族・扶助

聖約を尊ぶ

家庭訪問は、互いに仕え合い、強め合いながら、わたしたちが主の弟子であることを表し、聖約を尊ぶ方法の一つです。聖約とは、神とその子供たちとの間で交わされる神聖で永続的な約束です。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は次のように述べています。「自分が聖約の子孫であることを悟るとき、自分が何者であり、神から何を期待されているかを知ります。神の律法が心に刻まれます。主は神であられ、わたしたちは主の民なのです。」¹

訪問教師として、わたしたちは神聖な聖約を守ろうと努力する訪問先の人々を強めることができます。そうすることによって、彼女たちが永遠の命の祝福に備えるのを助けるのです。「主と聖約を交わした教会のすべての姉妹は、人々の救いの手助けをなし、世の女性を導き、シオンの家庭を強め、神の王国を築くようにとの神聖な命令を神から受けています」と、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は述べています。²

神聖な聖約を交わして守るとき、わたしたちは神の手に使われる者となります。自分たちの信条をはっきりと表現し、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰を互いに強め合えるようになります。



聖文から

1 ニーファイ 14 : 14 ; モーサヤ 5 : 5 - 7 ; 18 : 8 - 13 ; 教義と聖約 42 : 78 ; 84 : 106

注

1. ラッセル・M・ネルソン「聖約」『リアホナ』2011年11月号, 88
2. M・ラッセル・バラード「義になつた女性たち」『リアホナ』2002年12月号, 39
3. 『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』133

わたしたちの歴史から

神殿は「すべての聖徒たちが感謝をささげる場所〔である〕」と、主は1833年に預言者ジョセフ・スミスに啓示されました。神殿は「それぞれの召しと職のすべてにおいて奉仕の業に召されたすべての人を教える場所……である。それは、彼らの務めを理解することにおいて、理論において、原則において、教義において、……地上の神の王国に関するすべてのことにおいて、彼らが完全になるためである。」(教義と聖約 97 : 13 - 14)

1840年代初頭、イリノイ州ノーブーの扶助協会の姉妹たちは、互いに助け合って神殿の儀式を受ける備えをしました。そしてノーブー神殿で末日聖徒が受けた大神権の儀式によって、「神性の力が現れ〔ました〕。」(教義と聖約 84 : 20)「当時もその後も、聖徒たちは聖約を守るとき、試練の中でこの力によって強められ、支えられました。」³

今日の教会では、世界中の忠実な男女が神殿で奉仕し、神殿の聖約を通してのみ受けられる祝福に引き続き力を見いだしています。

何ができるでしょうか？

1. 聖約によってどのように強められていますか。
2. 自分が担当している姉妹たちが聖約を守れるように、どのように助けていますか。

服装と外見



今 日の世において、多くの人は体の神聖さを理解していないか、心に留めていません。末日聖徒は自分の体がどれほど貴いか知っていることを服装を通して示す際立った存在です（『若人の強さのために』〔小冊子, 2011年〕, 6-8参照）。今月号の52ページで、中央若い女性会長会第一顧問のメアリー・N・クック姉妹はこの標準について次のように語っています。

「神殿を建てる時には、神殿を守り、外側も内側も美しく装飾するために多大な手間をかけます。神殿を設計する際の鍵は、神殿が主を表すものであり主の宮であると理解することです。わたしたちは、ふさわしい人しか入ることができない神聖な建物として神殿を尊びます。わたしたちは神殿に敬虔な気持ちを抱きます。神殿で受ける神聖な儀式と聖約により天の御父のもとに戻ることができるからです。

皆さんの肉体は地上で最も美しい神殿よりも貴いものです。皆さんは神に愛される息子、娘なのです。主を代表すること、敬意、敬虔の原則は、肉体に注意を払い肉体を守ることにおいて、さらに実践する必要があります。」

次の提案は、服装と外見について子供に正しい原則を教えるのに役立つでしょう。同時に、子供はあなたの慎み深い服装の模範から、適切な服装がどれほど大切かを学ぶことも覚えていてください。

青少年に教えるための提案

- 10代の子供と一緒に『若人の強さのために』の服装と外見についての項を読みます。そうすることで、この標準に関する教義や祝福、警告について息子や娘と話し合い、彼らが疑問に思っていることに答える機会が得られるでしょう。
- 家庭の夕べで服装と外見の大切さを採り上げるとよいでしょう。家族に次のように尋ねることができます。「もし主が教会にいらっしゃるとしたら、どんな服装をしたい?」「主にどのような姿をお見せしたい?」「慎み深い服装をしているとき、どのような気持ちがする?」学校や職場、社交行事など、そのほかの場における適切な服装について話し合うこともできます。

子供に教えるための提案

- 服装を通してわたしたちは自分が何を大切にしているかを表します。この原則を説明するために、全員が宣教師のような服装をするか、日曜日のいちばんいい服を着て家庭の夕べを行う機会を持つとよいでしょう。
- 子供たちは幼いときから慎み深い服装を始めることができます。子供と一緒に『若人の強さのために』の7ページで述べられている指針を読み、それらの指針に従った服装を用意してください。■

服装と外見 に関する聖句

創世1:27;
1コリント6:19;
アルマ1:27

10月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ[る。]……

わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

大会のために予定を空けておく

シェリル・バー

追加の活動をあれこれ予定していなかったおかげで、総大会の説教に耳を傾けながら、御霊を感じることができました。

何年も前、6人の子供たちが幼かったころ、わたしたちは総大会を自分たちにとってもっと有意義なものにしようと決意しました。すっきりした頭と休息を取った体で大会を視聴することがどれほど大切か話し合いました。大会は現在の預言者たちから教えを受ける大切な時間です。そこで、大会の2、3日前から大会が行われる週末にかけては必要以上のことを何も計画しないという目標を立てました。カレンダーの該当する日を囲み、それらの日に追加の活動を予定しないようそれぞれが努力しました。

皆さんが同じような方法を取るとすれば、皆さんの家族や状況に特有の「追加の活動」が考えられるでしょう。わたしたちの家族では、学校の活動に参加すること、近所の子供を家に迎えること、外出して友人と何かをすること、友人や親戚とパーティーや食事をする、大会の合間や最中にプロジェクトや庭仕事をする、学校の宿題をぎりぎりまで残しておくこと、職場で臨時の仕事を引き受けることを「追加の活動」としました。

総大会の前の週になると、時々こうした事柄を断るのが難しいこともありました。ほとんどの場合、わたしたち家族は目標を果たすために喜んで正しい選択をしました。わたしたちは年少の子供たちも総大会に参加したがつていることを知りました。大会の大切さについてわたしたちが前の週に繰り返し話していたからだと思います。

うれしいことに、総大会前の数日と大会期間中のスケジュールに余裕を持たせたことで、わたしたち家族はまったく違った経験をすることができました。大会に向けて心と思いが備えられました。

追加の活動をあれこれ予定していなかったおかげで、座って指導者たちの勧告の言葉に耳を傾けながら、御霊を感じることができました。

大会の度に、わたしたちはこの目標を忠実に実践してきました。家庭に平安が満ちるからです。もう家を出ている子供もいますが、彼らにもわたしたちが家で行っているように大会前の数日と大会期間中の予定を空けておくことを勧めています。また、家族全員で見る部会を一つ計画するようにしています。子供たちが結婚して自分の子供を持ったとき、大会を有意義なものとするために予定を空けておくことを引き続き大切にするように願っています。■



総大会を優先する

「総大会を生活の中の優先事項にすると、今決心してください。注意深く耳を傾け、与えられる教えに従うと決心してください。」

七十人
ポール・V・ジョンソン長老
「総大会の祝福」
『リアホナ』2005年11月号、52

日曜学校の答え

エマ・アダムス

わたしには試練に対して壮大な答えを探す傾向があります。すべてを解決してくれる一つのものが見つかるように、主に助けを求めるのです。しかし、そのような姿勢は物事を必要以上に複雑にしてしまうことがあることを学びました。

ワードで福音の教義クラスを教えていたとき、わたしは深遠な質問をしようと決意しました。熟考と、今までにない野心的で洞察に満ちた答えが求められるような質問です。言い換えれば、ワードの会員が毎週挙げているように思われる、いつもの「日曜学校の答え」が復唱されるのを避けたかったのです。

レッスンの準備で新約聖書をじっくり研究していたとき、「うちにいる」という言葉が使われていることが強く印象に残りました。この言葉は聖書に繰り返し出てきます。例えば、ヨハネによる福音書第15章10節では次のように述べられています。「もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのである。」(強調付加)

偉大な執り成しの祈りの中で、救い主は次のように祈っておられます。「父よ、……あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、[弟子たち]が一つとなるためであります。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり、……わたしが彼らにおり、あなたがわたしにいますのは、彼らが完全に一つとなるためであり[ます]。」(ヨハネ17:21, 23)

わたしが探し求めていたことはおもに、どうすれば主と一つになることができるか、主の愛のうちにいることができるか、そしてその結果として、どうすればさらなる忍耐力を身に付けることができるかでした。経験する事柄を通して疲れ果てるのではなく、活気づけられ、聖められるように、そのような忍耐力がぜひとも必要だったのです。

「うちにいる」という言葉を理解しようと努め、自分が日々直面している難題への答えを探し求めていく中で、最終的に帰り着いたのは、皮肉なことに、まさに自分が避けようとしてきた日曜学校の答えでした。聖文を読み、毎日祈り、家族とほかの人々に仕え、神殿に参入し、日曜日の集会に出席することによって、抱えていた難題への答えを見いだしたのです。そうした簡単なことが、単に堪え忍ぶか、それとも忍耐をもって立派に堪え忍ぶかの違いを生じることを学びました。

日曜学校の答えこそ、確かに最もすばらしい答えなのです。■



信仰を養う

「奉仕、勉強、祈り、礼拝は、『わたしたちの』信仰の足りないところ』を補うための4つの基本的な事柄です(1テサロニケ3:10)。この4つの具体的な方法で信仰を養うことをやめるならば、わたしたちの信仰は弱くなってしまいます。……

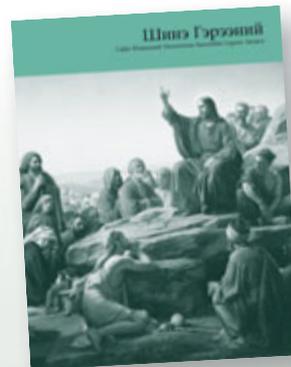
この荒廃しつつある世の中にあって、主は『御霊の剣、すなわち、神の言』を用いてわたしたちの心を買き通すことがおできになります(エペソ6:17。ジェロム1:12も参照)。しかし……何度も言われてきたように、御言葉を聞いても、信仰とクリスチャンとしての奉仕が伴わなければ何もなりません(ヘブル4:2参照)。」

十二使徒定員会

ニール・A・マックスウェル長老(1926 - 2004年)

「弱り果てて意気をそさないために」

『聖徒の道』1991年7月号, 90



教会で承認されている資料を用いる

「教師と指導者は、聖典、末日の預言者の教えおよび承認された教科資料を使って福音の教義を教え、証する。各クラスまたは定員会のために承認されている教科資料は最新の『教科課程に関する指示』に記載されている。教師と指導者は教科資料を補うために教会機関誌、特に『エンサイン』(Ensign)と『リアホナ』の総大会号を必要に応じて使用する。」

『手引き 第2部——教会の管理運営』(2010年), 5.5.4

賢明な生活は わたしたちを将来に備えてくれる

末日聖徒は、備え、自立するべきことを信じています。教育を受けて職業に備え、財政的に万一の場合に備え、物質的に自然災害やそのほかの困難に備えるべきことを信じています。そして何より大切なこととして、イエス・キリストの再臨と、再び天の御父とともに住むために霊的に備えるべきことを信じています。こうした備えの取り組みは、賢明な生活と呼ばれています。

賢明な生活をするとは、人は「思いのままに行動することができ、強いられることはない」という、わたしたちの永遠の本性を反映しています(2ニーファイ2:26)。主はわたしたちが責任を果たす者となり、自立するように望んでおられます(教義と聖約78:14 参照)。主がわたしたちに賢明な生活をするよう望んでおられるのは、その過程を通じてわたしたちが責任を果たす者となり、寛大で、成熟した、親切な人になるからです。なぜなら自立していればいるほど、わたしたちは家族やほかの人たちをよく助けることができるからです。自分自身が空腹であるなら、どうして空腹の人に食べさせられるでしょうか。自分自身が知識に欠けているなら、どうして知識を分け与えられるでしょうか。

自分自身が信仰に不足しているなら、どうしてほかの人の信仰を築けるでしょうか。

賢明な生活の原則には次のことが含まれます。

- 準備。「来るべきことのために備えなさい。主は近いからである。」(教義と聖約1:12)
- 勤勉。「あなたは怠惰であってはならない。」(教義と聖約42:42)
- 学問。「研究によって、また信仰によって学問を求めなさい。」(教義と聖約88:118)

教会員があらゆる手を尽くしても基本的な必要を満たせないときは、まず家族に助けを求めます。それでも十分でない場合には、教会の助けを受けることができます。ビショップや支部会長は、会員を助けるために「主の倉」の支援手段を用いることができます(教義と聖約82:18-19 参照)。教会からの援助はすべて、会員の自助努力を助け、生活において労働を奨励することを目的としています。■

さらに詳しく学ぶには、創世41章、教義と聖約38:30を参照してください。



「わたしたちは皆、自分と家族を物心両面で養う責任があります。賢く養うには将来に備えた賢明な生活の原則を実行しなければなりません。収入の範囲内で喜びをもって生活することです。つまり、現在あるもので満足し、過大な負債を避け、苦境や緊急時に備えて日ごろから貯金しておくのです。」

十二使徒定員会 ロバート・R・ヘイルズ長老
「物心両面で賢い養い手となる」『リアホナ』2009年5月号, 7

わたしたちは次の分野で自立するよう努力することができます。

霊的な力——主を信頼し、戒めに従い、毎日祈り、聖文を研究し、ほかの人々に奉仕します。



健康——知恵の言葉に従い、運動し、十分な睡眠を取り、適切な衛生管理をします。



教育——読み書きの能力を身に付け、仕事に関する技能を習得し、「最良の書物」を研究します(教義と聖約 88:118)。



職業——自分自身と家族の必要を満たすために働きます。



家庭貯蔵——きれいな飲用水を貯蔵し、普段の食事で食べているものと、穀類や豆類など長期間保存できる食糧を少しずつ貯蔵していきます。



財政管理——^{じゅうぎん}十分の一と献金を納め、不必要な負債を避け、少しずつ経済的な蓄えを築きます。

質問に答える

末日聖徒は食糧の買いだめをするのだろうかと思う人がいるかもしれませんが。実際には、わたしたちは食糧やきれいな水が不足したときや手に入らなくなったとき、あるいは家計がひっ迫したときに備えて食糧と水を貯蔵します。緊急時には、食糧を貯蔵していればより大きな安心感を覚え、家族や隣人が危機を乗り越えるのをよりよく助けることができます。

左から「再臨」クリスティーナ・スミス、クリック・ロバート・ケシー © 2012 サラ・ソンの写真、デビッド・ストーカー © 2012

小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」
(アルマ 37:6)

語り継がれる偉大な生涯

ニューエル・K・ホイットニー (1795-1850年)

下、左の
挿入の写真—
ニューエル・K・
ホイットニーの
肖像画。

下、右の
挿入の写真—
オハイオ州
カートランドにあった
ホイットニーの
店の2階。
ここで教会の集会や
預言者の塾が
開かれた。

下—
ニューエル・K・
ホイットニーの店

— ユーエル・キンボール・ホイットニーは、1795年2月5日、アメリカ合衆国バーモント州で生まれました。優秀なビジネスマンで、シドニー・ギルバートと親しくなり、ビジネス上のパートナーとなりました。ビジネスを始めて間もないころ、二人はよく出張旅行に出かけました。そのような旅行先のオハイオ州カートランドで、ニューエルはエリザベス・アン・スミスに出会いました。ニューエルとアンは3年間交際し、1823年に結婚しました。

ニューエルとアンはともに、真理を探し求め、一時、原始キリスト教を回復したと公言するキャンベル運動に

加わりました。ある夜のこと、ニューエルとアンは「聖霊の賜物を得る方法を教えてください」に祈りました。アンは祈りの答えとして二人が受けた示現についてこう語っています。「御霊がわたしたちのうえにとどまり、雲が家を覆いました。……そのとき、その雲の中から次のように言う声が聞こえました。『主の言葉を受けるために備えなさい。それはやがて与えられます。』」¹

1830年10月、祈りの答えを受けてから間もなくして、末日聖徒の宣教師がカートランドにやって来ました。11月にニューエルとアンはバプテスマを受けました。それから何か月も

たたないうちに、ジョセフ・スミスとエマ・スミスがホイットニー家を訪れドアをノックしました。ジョセフはニューエルの名前を呼んであいさつをしましたが、そのときニューエルは預言者の名前を知りませんでした。そこでジョセフはこう言いました。「わたしは預言者ジョセフです。わたしがここへ来ようとしたあなたが祈ったのでやって来ました。わたしに何をしてほしいですか。」² ホイットニー家は数週間スミス一家を自宅に滞在させ、1832年9月には二人に住居を提供しました。

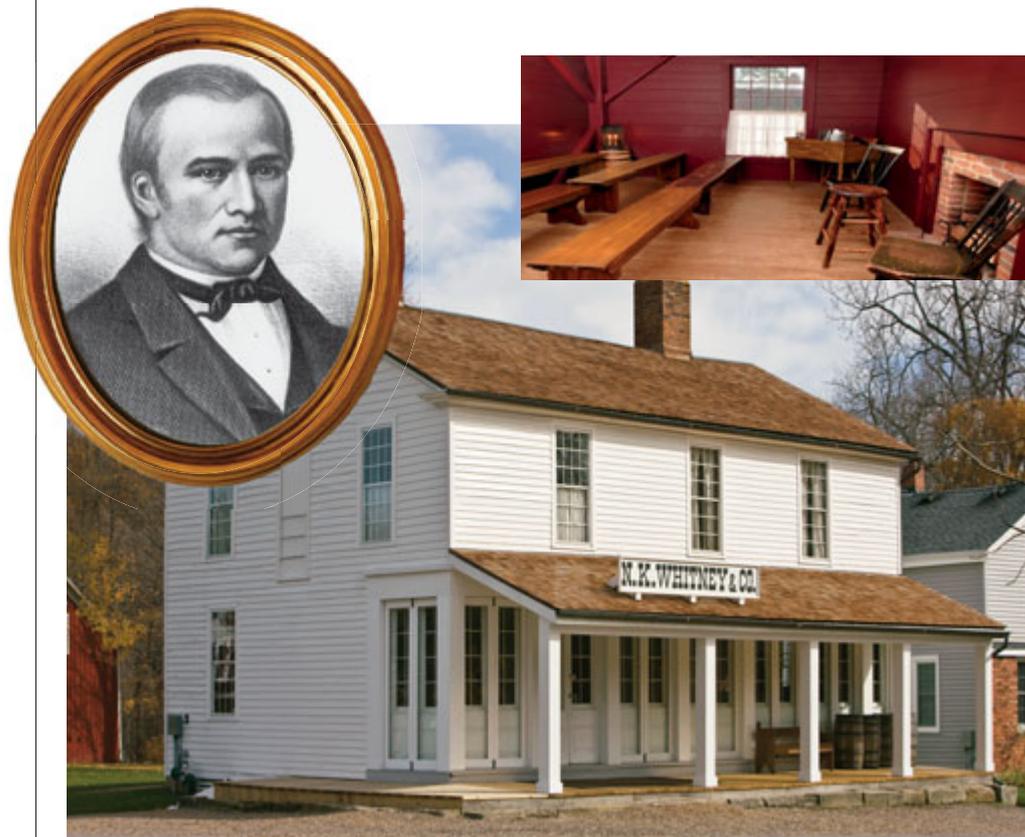
ニューエルは、スミス家に宿泊場所を提供しただけではなく、自分の店の2階のすべてを教会が使用できるようにもしました。このホイットニーの店で、教会指導者は集会や預言者の塾を開いたのです。

1831年12月、ニューエルは教会で2番目のビショップに召され、後に、教会の財政業務管理者として働き、教会の資金運用や債務返済を助けました。1838年の秋、ホイットニー家はミズーリ州ファーウェストに引っ越し、その地でニューエルは再びビショップに召されました。それから10年後、ニューエルは家族とともに大平原を横断してソルトレーク・シティーにたどり着き、そこで教会の管理ビショップとして奉仕しました。

ニューエルは呼吸器系疾患のため、1850年9月24日、ソルトレーク・シティーで亡くなりました。

注

1. エリザベス・アン・ホイットニー、エドワード・タリッジ、*The Women of Mormonism* (1877年)、41-42で引用。
2. ジョセフ・スミス、エリザベス・アン・ホイットニー、"A Leaf from an Autobiography," *Woman's Exponent*, 1878年8月15日、51で引用。



ダン・ジョーンズ (1810-1862年)

教会組織されて以来、100万人以上の宣教師が召されていますが、ダン・ジョーンズは単なる100万人の中の一人の宣教師ではありません。このウェールズ人宣教師について、ゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910-2008年)はこう語っています。「改宗者の多さで言えば、[ダン・ジョーンズ]は、間違いなく十指のうちに数えられる、教会の歴史の中でも非常に有能な宣教師でした。」¹

宣教師になる前、ダン・ジョーンズはウェールズから合衆国へ移住し、ミシシッピ川で「メイド・オブ・アイオワ号」という蒸気船の船長をしていました。多くの末日聖徒をイリノイ州ノーブーまで運んだ蒸気船です。1843年、彼は教会に入り、預言者ジョセフ・スミスの親しい友人となりました。

ダンの伝道は、ジョセフ・スミスの記録上最後の預言の成就でした。殺害される前の晩、預言者ジョセフ・スミスはカーセージの監獄の窓の外で銃声が聞こえたため、床の上で眠ることにしました。彼の近くにダン・ジョーンズがいました。死ぬのは怖くないかと預言者に聞かれて、ダンはこう答えました。「その時が来たのですか。わたしは主の業に携わっていますから、死はそれほど怖くはありません。」するとジョセフが次のように預言しました。「あなたは死ぬ前にウェールズに行き、召された伝道の業を全うすることでしょう。」²

預言者の約束は1845年に成就しました。その年にダンと妻のジェーンはウェールズで伝道する召しを受けたのです。ダン・ジョーンズは弁舌を振るい、揺るがぬ確信をもって福音を教えました。彼はウェールズ語と英語を流暢に話すことができました。目撃者の証言によれば、話し方には非常に説得力があり、いずれの言語でも何時間でも聴衆を飽きさせることなく話すことができたそうです。

ウェールズ滞在中に、ダン・ジョーンズは末日聖徒の定期刊行物やちらし、書籍をウェールズ語で出版しました。ダンの指導の下、ウェールズの宣教師は29の支部を立ち上げ、毎年1,000人近い人々にバプテスマを施しました。ダン・ジョーンズは1852年に2度目のウェールズ伝道に召されました。教会に対する迫害がひどくなっていたにもかかわらず、4年間で約2,000人の人々がバプテスマを受けました。

ユタ州に帰るとすぐに、ダン・ジョーンズは多くのウェールズ人改宗者のためにユタ州移住の便宜を図りました。51歳で亡くなるときまでに、およそ5,000人の人々が合衆国西部へ移住できるように助けたのです。

注

1. ゴードン・B・ヒンクレー「最も価値あること」『リアホナ』1994年3月号、8
2. ジョセフ・スミス、*History of the Church*、第6巻、601で引用



左から――

ウェールズ人宣教師ダン・ジョーンズ。
イリノイ州ノーブーの船着き場に着岸する蒸気船
(ダン・ジョーンズが船長を務めたもの
このような蒸気船だった)。
ウェールズ人移民を助けるダン・ジョーンズ。

純潔と徳を 教える



中央日曜学校会長会
第二顧問
マシュー・O・
リチャードソン

両親は以下の
6つの方法を用いて、
子供たちに
性的な親密さについて
教えることが
できます。

わたしは恵まれて、世界中の様々な状況にある青少年やヤングアダルトと会う機会に恵まれてきました。あるとき、10代の若者たちと徳や純潔、道徳にかなった生活について話し合い、特に感銘を受けたことがありました。彼らの語ることや自信、風貌、態度にどれほど感銘を受けたかを話した後で、こう尋ねてみました。「このような繊細な話題について、それほど正確に確信をもって答えることができ、しかもそれほど落ち着いた様子でいられるのはなぜなのでしょう。」するとある若い女性がまったく躊躇せず（ちゆうちゆうせず）に答えました。「両親が教えてくれるからです。」ほかの若人もうなずいて同意を表していました。この単純でありながら深遠な経験から、両親が子供の生活に与える影響がいかに大きいか、また徳や純潔、性的な親密さ、またふさわしい関係について教える役割を果たすうえで特にそれが言えることを強く感じました。

残念ながら、両親の多くは、性的な事柄について本来可能なほど十分には教えていないようです。例えば、200人の活発な末日聖徒のヤングシングルアダルトにアンケートを取ったところ、性的な事柄に関する情報を最初に受けたのは両親からであると答えたのはわずか15%にすぎませんでした。ほとんどの若人は、この重要な事柄を最初に学んだのは、友達や仲間、インターネット、メディア、娯楽、本、

親戚、あるいは教会の指導者からだったと答えました。

もちろん、この話題について教えるのは簡単ではありません。しかし、そのような神聖な原則を伝えるのに最適な教師は両親であるとわたしは信じています。以下の方法を使えば、簡潔で効果的で永続する原則と習慣を築くことができ、特に子供たちに徳高い、慎み深い生活を送るように教えるうえで効果的な学びや教えを与えることができます。

早い時期に教え、学び始めてください。性的な事柄について子供たちに効果的に教える両親は、ほとんどの子供たちと両親が考える、あるいは望むよりももっと早い時期にそのような事柄にさらされているということを理解しています。多くの子供たちが11歳、あるいはもっと若い年齢において、インターネットで性的な内容を見聞きしています。娯楽施設、スポーツのイベント、広告、またソーシャルメディアにおいてさえ、ますます性的な映像や言い回しが蔓延（まんえん）してきています。

当然、両親の皆さんの中には次のように尋ねる人もいます。「性に関する事柄についていつ話し始めればよいのでしょうか。」それは、子供の年齢や成熟度、またそれぞれの特別な状況によって異なります。両親が祈りながら注意深く子供たちの行動を観察し、意識して子供たちの語る言葉に耳を傾け、いつ、何を教えるべきかについて考え、識別するための時間を取るなら、霊的な導きを受けるでしょう。例えば、わたしの息子が体の部分について聞き始めたのは5歳になったばかりのころでした。わたしは内心驚きましたが、話すのにちょうど良い時期だということは明らかでした。しかし、どのように返答するか考えたとき、性に関して何でも話すにはまだふさわしいときではないということもはっきり分かりました。

しばしば教え、学ぶ必要があります。学習は1回で終わる出来事というよりも、過程です。



子供たちに性的な親密さやそのほかの関連した事柄を教えることについて、人々はよく「あの話」と表現します。この表現は、意識しているかどうかは別として、両親がこの話題を1回の会話で教えようとしていることを暗示しています。これは、子供が学ぶうえで最も効果的な方法とは言えません。救い主は、人は「教えに教え、訓戒に訓戒を加えて」学ぶと言われました(2ニーファイ28:30)。子供たちが年齢を重ね、成熟するのに応じて、この話題について何度も話すことで、さらに良い教えを与えていくことができるでしょう。この原則を理解している両親は、子供たちの幼児期から青年期にかけて、性に関する事柄を教えるために精神的に、感情的に、そして霊的に自らを備えます。

効果的に教え、学ぶかどうかは、教える側と学ぶ側の関係に左右されます。子供たちに性に関する話題を教えるとなると、たいていの両親はほとんど例外なく**何を**話せばよいのかと心配します。それは確かに重要なことです

が、効果的に教え、学ぶには、内容について話し、伝えるよりはるかに多くのことが必要です。実際、両親が何を言うかよりも、両親が子供たちに教える際に**どのような態度**で伝えるかの方がはるかに大切なのです。研究によれば、性的な事柄について対応する際、子供たちに最も大きな影響を与えるのは、率直に話し、愛と関心を伝え、子供たちの生活に積極的にかかわっている両親です。¹

若い末日聖徒にざっくばらんに尋ねると、両親に性に関することについて、もっとオープンに、積極的に話してほしいという声をよく聞きます。このヤングアダルトたちは、性に関する学びに両親がかかわってほしいと望んでいただけでなく、両親が**一方的に話す**のではなく、**ともに話し合う姿勢**を持ってほしいと願っていました。「気まずい」雰囲気よりもはるかに「自然」で「普通」で「気楽な」話し合いを熱望していました。このことから、両親は話しやすく、いつでも相談に乗れ、自然で、話題や状況や時期についても冷静でいられるよう、

性的な事柄について対応する際、子供たちに最も大きな影響を与えるのは、率直に話し、愛と関心を伝え、子供たちの生活に積極的にかかわっている両親です。

努力しなければならないことが分かるでしょう。最も重要なことについて子供たちに効果的に教えられるようになるために、子供たちがあらゆる事柄、特に、より個人的な事柄について気楽に、安心して親と話し合えるようにしなければなりません。

話題が明らかで現実的であるとき、最も効果的に教え、学ぶことができます。性的な親密さについて教えるとき、わたしたちの働きかけ方によっては、子供たちに気まずい思いをさせたり、非現実的で非実用的で、説教じみていると思わせたりしてしまうこともあります。成功の秘訣は、子供たちが抱いているほとんどの質問や心配は、実生活で経験する状況や見聞きする事柄にどのように対処すればよいかに関してであることに気づくことです。わたしたちが子供たちに注意を払い、彼らの語る言葉に耳を傾け、よく観察するとき、何を教える必要があるかを識別することができるでしょう。

例えば、映画、流行、テレビ番組、広告、歌の歌詞など、道徳的標準について話す機会は実に多くあります。ほかに、子供たちと周囲の人々との関係ややり取り、子供たちやその仲間の服装、言葉遣い、異性にどれほど依存しているか、また地域社会で純潔や道徳的標準に対する解釈がどのくらい幅があるか、といったことを観察する中で、話す機会が見つかるでしょう。道徳や徳について子供たちとともに話す機会は実生活の中で非常に多くあるのです。

恐らく、現実の生活に即した教えの中で最も重要な要素は、両親がその生活において純潔や慎み深さ、そして徳の模範を示すことです。両親がその良い模範に基づいて勧告を与えるとき、子供たちは容易に耳を傾け、従うのです。

その反対も同様です。十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は次のように語っています。「いろいろな意味で、言葉よりも行動の方が大きな影響力を持ちます。ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）は、次のように教えています。『子供たちに^{なら}倣ってほしいと思う

わたしたちが
子供たちに
注意を払い、
彼らの語る言葉に
耳を傾け、
よく観察するとき、
何を教える
必要があるかを
識別することが
できるでしょう。

ことについては模範を示さなければなりません。わたしたちはそのことを十分に理解しているでしょうか。子供には従順、善い行い、穏やかな言葉遣い、そして笑顔と優しい声、輝くひとみを要求しておきながら、自分自身はとげとげしい態度で、しかりつけてばかりいるような親が非常に多くいます。何と矛盾した、道理に合わないことではないでしょうか。』子供たちは親の矛盾を察知し、それを口実にして同じような行動を取るようになるかもしれません。』²

人は教師が教えていることを理解するとき、最もよく学びます。両親、また教会指導者までもが「あいまいな言葉」を使い、漠然としたメッセージを伝える傾向があり、それによって答えよりもさらに疑問が増え、平安どころか不安が増してしまうということを、実に多くの青少年とヤングアダルトが訴えます。性的な話題に関して特にそれが言えます。

ヤングシングルアダルトのワードのビショップを務めていたとき、わたしはよく「ベッティング」の意味について尋ねられました。信仰深いワードの会員たちは、ベッティングをしてはいけないと教えられながらも、ベッティングが実際何を意味するのかは一度も教えられたことがなかったのです。彼らにとって、理解していない教えを守るのは難しいことでした。

大管長会第一顧問のマリオン・G・ロムニー管長（1897 - 1988年）は、人が理解できるように教えるだけでは不十分であり、だれも誤解しないように教えなければならないと説明しました。³ あいまいな言葉や俗語を使うことなく、正しく適切な用語を使うなら、もっとよく教えることができるでしょうし、そうすることで相互の理解が深まり、尊敬を得るでしょう。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老が道徳的原則と標準について効果的に教えた方法を考えてみてください。スコット長老はこのように語りました。「結婚というきずなで結ばれていない男女の間で行われるすべての性的



接触を指します。つまり衣服の上からであっても意図的に相手の体の神聖な部位に触れることは罪であり、神から禁じられています。また自分自身の体を用いて意図的に情欲をかき立てることも罪です。』⁴

効果的に教えるには、教える相手はそのメッセージを理解したかどうか確認しなければなりません。「今の説明で、答えになっているかな」あるいは「うまく説明できたでしょうか」あるいは「ほかに質問はあるかい」などといった簡単な質問が、非常に役立ちます。

教える側がメッセージを永遠の原則や標準と結びつけるとき、学ぶ側は改宗します。 関連した「生活の事実」だけに焦点を当てるのではなく、その事実を「永遠に続く人生の事実」と結びつけるときに、効果的に福音を教えることができます。例えば、肉体について話すとき、愛に満ちた天の御父がどのようにしてわたしたちの肉体を造ってくださったか、また、天の御父の期待に添って、神が造られた創造物にどのように対処するべきかについて話すことができます。

世の中は不道徳という深みにおぼれそうになっていますが、将来の世代にまだ希望があります。この希望は、両親が最善の努力を尽くして次世代が徳高く慎み深い者となるよう教えることにかかっています。子供たちに徳高く慎み深い人生を送るように教える両親は、理解を深め、教える技術を改善しようと努力します。そうすることによって「主が命じられた方法で教えるならば、主が力を増し加えてくださる」ことが分かってきます。結局のところ、これは「愛の働きであり、人々が選択の自由を義にかなって使ってキリストのもとへ行き、永遠の命の祝福を受けるのを助ける機会なので[す]。』⁵ ■

注

1. ダニエル・ローマー編, *Reducing Adolescent Risk: Toward an Integrated Approach* (2003年), 193 - 200 に掲載の, ポニタ・F・スタントン, ジェームズ・バーンズ "Sustaining and Broadening Intervention Effect: Social Norms, Core Values, and Parents" 参照
2. ロバート・D・ヘイルズ「親としての神への務めと若者への務め」『リアホナ』2010年8月号, 74
3. ジェイコブ・ディエガー「誤解のないように」『聖徒の道』1979年2月号, 111 参照
4. リチャード・G・スコット「真剣に考えるべき事柄」『聖徒の道』1997年9月号, 31
5. 『教師——その大いなる召し』(1999年), 4

恐らく、
現実の生活に即した
教えの中で
最も重要な要素は、
両親がその生活において
純潔や慎み深さ、
そして徳の模範を
示すことです。

家族で義を教える

子供たちに
義にかなった生活を送るように教え、
訓練することは
両親の責任であり祝福です。



十二使徒定員会
デルバート・L・
ステープレー長老
(1896 - 1978年)

デルバート・L・ステープレーは、1896年12月11日、アメリカ合衆国アリゾナ州で生まれました。1950年10月5日に十二使徒定員会会員として任命され、1978年8月19日に亡くなるまでその召しを果たしました。この説教は1977年2月1日、ブリガム・ヤング大学で話されたものです。説教の全内容[英文]は、speeches.byu.eduで閲覧できます。

両親は、サタンが幼い子供たちを誘惑する前や、8歳に達して神の前に責任を負うようになる前に、幼い子供たちに教え、彼らの性格を形成する機会が与えられています。……主は両親に、そのような貴重な時期をお与えになりました。人生の最初のこの時期は、子供たちは自分が言ったり行ったりしたことについて責任を問われません。子供たちに義にかなった生活を送るように教え、訓練することは両親の責任であり祝福です。

家庭で義と宗教を教える最も効果的な方法は、模範によって教えることです。両親は自らの生活を温くて清いものとし続けることが望ま

しく、それによって、子供たちを教え、訓練するに当たり、生活の中で見せる模範によって益となる教えを与えられるようにするのです。[デビッド・O・マッケイ大管長(1873 - 1970年)は次のように教えました——]「神への信仰を教えようと思うなら、あなた自身が信仰を示しなさい。祈りを教えようと思うなら、あなた自身が祈りなさい。……我慢強い子になってほしいなら、自分自身かっとなるのをやめなさい。子供に、徳高く、節制し、誉れある事柄に満ちた人生を送ってほしいなら、これらすべてについてふさわしい模範を示しなさい。」¹ そのようにするなら、親の教えは、さらに強く子供の心に残るでしょう。そして、親からそのような導きを受けた子供たちは、サタンの誘惑から身を守ることができるのです。サタンの目的は子供たちが責任を問われる年齢に達するときにその生活を破滅させることです。両親は、礼儀正しさや誠実さ、節制、正しいことを行う勇氣について、子供たちにこうあってほしいと願うような人物になる責任があります。模範は説教よりもはるかに説得力があるのです。

日々の家庭生活を、教会の原則や標準と一致したものとするべきです。ビジネスの取引はわたしたちの宗教と合致したものであるべきです。子供たちは不誠実さをすぐに見抜きます。ジョン・ミルトンは、偽善は神だけにしか見破られない罪であると語りました。しかし子供たちは、過ちに敏感であり、不誠実や偽りの見せかけに対して憤慨します。子供たちはわたしたちの説く教えよりもわたしたちの実践する教えにはるかに影響を受けます。両親は常に子供たちに正直に接するべきです。子供たちと約束したことを守り、常に真理を語るのです。子供の信頼を得るのは一貫した親です。親が子供からの信頼を大切にし、それにこたえようとしていると子供が感じる



とき、子供はその信頼を裏切るようなことはせず、親の名前に傷がつくようなことはしません。……

両親は子供たちの見ている前で決してけんかをすべきではありません。子供を正したり、しつけようとしたりする際に、口論になる場合があります。片方の親が批判し、もう片方が反論するのです。子供に関する限り、家庭の不一致はまったく効果がありません。子供にどのように生きてほしいかについて両親が一致して分かっている必要があります。そうでなければ、子供は混乱し誤った方向に進んでしまうかもしれません。リチャード・L・エバンズはこのように語りました。「両親の不一致は不公平であり、混乱を招き、家族の土台を弱めます。子供から導きを求められる人々は、一致して子供たちに導きを与えなければなりません。」²子供たちは家庭の雰囲気や家族が感じていることに敏感であることをわたしたちは知っています。常に理解したり、口で説明したりすることはできなくても、家庭の中に緊張やずれがあるときにそれを感じるのです。

家庭は外界の危険や悪からの避け所であり、守りが得られる場所だと感じる権利が子供にはあります。家族の一致と誠実さは、この必要を満たすために不可欠です。この人

生において、真の永遠に続く幸福を見いだせる場所は家庭以外にありません。家庭を天国のような場所にすることができます。わたしが天国を思い描くとき、確かにこの地上での理想的な家庭が続く様子が浮かんできます。³……

わたしたちが教える福音は真実です。キリストは生きておられ、神は生きておられ、栄えある家が、神のすべての忠実で献身的な子供たちのために天で用意されています。あなたが望むような家庭や家族を今計画してください。また、日の栄えで受ける永遠の命へと家族を導く義の道に子供たちをとどめるため、彼らが必要なことをどのように満たしてあげるかを、今計画してください。兄弟姉妹の皆さん、神が皆さんすべてを祝福してくださいように。今日お話したことの多くが皆さんに関連していることを分かっていただけだと思います。皆さんの家庭を神聖な方法で整え、前進させることは、皆さんの人生を祝福するために皆さんのもとに来た若人にとって非常に重要なことです。■

原文〔英語〕では、大文字と段落分けはほかの記事と統一させるために変更しています。

注

1. デビッド・O・マッケイ, *Secrets of a Happy Life*, ルウェリン・R・マッケイ編 (1967年), 11
2. Richard Evans' *Quote Book* (1975年), 23
3. デビッド・O・マッケイ, *Gospel Ideals* (1953年), 490

家庭は外界の危険や悪からの避け所であり、守りが得られる場所だと感じる権利が子供にはあります。家族の一致と誠実さは、この必要を満たすために不可欠です。



青少年が 霊的な経験が できるように助ける

青少年に霊的な経験をするよう
強制することはだれにもできません。
しかし、これから紹介する
両親と指導者が見いだしたように、
改宗につながるような経験を
はぐくむ方法はたくさんあるのです。

ウクライナのビヤチェスラフ・グルコ
とゾーヤ夫妻が教会について学び
始めたとき、13歳の娘キラは乗り
気ではありませんでした。宣教師との話し合い
に出るのを拒み、宣教師が来ると分かった
「あてつけがましく自分の部屋のドアを閉めました」と母親は回想します。

教会に入ろうと決めたグルコ兄弟姉妹は、
何とかキラに御霊を感じる機会を与えることは
できないものかと考えました。それによって
彼女の心に変化があるようにと願ったのです。
グルコ姉妹自身、ほかの人のバプテスマ会に
出席して証を持ち始めたので、キラにバプテスマ
の後、着替えを手伝うためだけでよいので
自分のバプテスマ会に来てもらえないかと頼ん
でみました。驚いたことに、キラは行っていい
と言ってくれました。

「そして奇跡が起こりました」とグルコ姉妹は

当時を思い出して語ります。「天のお父様は
奇跡的な方法で業を進めておられました。」
キラはほんとうに御霊を感じ、両親のバプテスマ
の1週間後、宣教師から話を聞いてもいいと
言うてくれました。彼女はモルモン書を読み始
めました。数週間後、グルコ姉妹はキラの机の
上に1枚の紙がはってあるのに気づきました。
そこにはニーファイ第二書第2章25節の聖句
が書かれていました。自分たちのバプテスマの
2か月半後、グルコ夫妻は娘のバプテスマ会に
出席しました。20年がたった今、キラは結婚
し家庭を持っています。彼女と夫のデイブは
神殿で結び固められ、二人の息子を福音の中
で育てています。キラは幾つもの召しを忠実に
果たし、教会に活発に集っています。

ゾーヤ姉妹はこの経験を通して、生まれたと
きから教会員である両親にも、自分たちのよう
に教会に入ったばかりの両親にも当てはまる、
非常に重要な教訓を学んだと語ります。その
教訓とは、両親や指導者は、強制して子供たち
を福音に従わせることはできないけれども、
若人が自分自身で霊的な経験ができるような
場所に招いたり、そのような経験を作り出した
りすることはできるということです。そしてその
経験が彼らを改宗へと導くことになるのです。

でも、そのような経験ができるようにする
ための最も良い方法とは何でしょうか。世界

現代の例を神の言葉や若人の生活に関連づける。



各地の両親と指導者がそれぞれの成功体験を分かち合います。

青少年に奉仕の機会を与える

ブラジル・サンパウロ州コチアステーク、グランジャ・ピアナワードでは、若い男性が活発に活動に参加していました。しかし中には個人的な問題を抱え、神権の義務を果たすのが難しい状態の若い男性もいることに指導者は気づきました。

ビショップリックと若い男性指導者がともに話し合い、娯楽的な活動を減らし、奉仕活動に焦点を当てることにしました。この奉仕の中には、あまり活発でない定員会会員を訪問することや専任宣教師とともに伝道に参加すること、外出できないワード会員のために^{せいさん}聖餐の儀式を執行することも含まれました。若い男性はこのような活動を通して、セミナーや日曜日に学んでいる原則に従って行動する機会を得たのです(2ニーファイ2:26参照)。

やがて「これらの霊的な活動によってすばらしい変化が起こり始めました」と、ある神権指導者は報告しています。

「ある断食日曜日、わたしたちは非常に驚きました。若い男性全員が証をしたのです」と彼は語ります。「彼らの多くが証の中で、活動中に感じた良い気持ちについて涙ながらに語ってくれました。一人の若い男性は、3年間寝たきりになっているワードの年配の会員のために聖餐の儀式を施した経験を分かち合ってくれました。その会員の奥さんは忠実な姉妹で、若い男性たちを喜びと希望をもって迎えてくれたそうです。彼女は儀式の後、大きな問題や試練に直面してはいても、福音のおかげで生活の中で感じる幸福を彼らに話してくれたのです。若い男性たちは御霊を感じ、福音によって人々の生活がどのように変化するかに気づきました。彼らはこの非常に力強い経験を何年にもわたって、恐らく生涯を通して覚えていることでしょう。」

この指導者は「フットボールの試合やおもしろいミュージックの夕べからは、このような反応は一度も見られなかった」と語ります。むしろその経験を通して、若人が御霊を感じられるような経験を促すことが大切であることを学んだと言います。

「社交活動は大切です」と彼は続けます。「でも、霊的な経験は、青少年が自分の証を築くのを助けるうえでとても重要です。」

フランス・アンジェステークのレンヌワードでは毎週日曜日、若い女性会長であるデルフィン・ルトト姉妹が、出席している若い女性たちにカードを渡し、その日来ていない友達を一人選んで手紙を書いてもらっています。若い女性たちはその週のレッスンについて、何を学んだか、また何を感じたかを書き、また親しみを込めたメッセージも添えます。それからルトト姉妹が顧問の姉妹が、来ていなかった若い女性たちにカードを送っています。

活動は単純ながら効果的だったと彼女は

古代の預言者と現代の預言者の言葉を引用して教える。

語ります。休んだ女の子たちには、みんなが自分のことを覚えていてくれることを知ってもらえただけでなく、手紙を書いた若い女性たちには、互いにもっと思いやり深くあるべきだと知らせることができたからです。

「小さな事柄によって偉大な奇跡が起こります」とルトート姉妹は言います（アルマ 37:6 参照）。「それが実際に示されるのを目にしてきました。若い女性たちは励ましを受け、この経験によって証を強めることができました。」

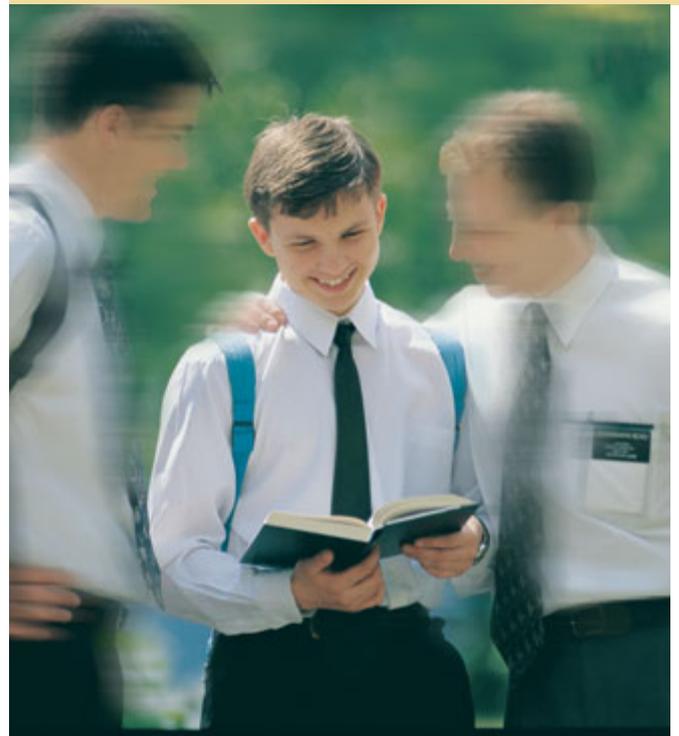
青少年を神の言葉に結びつける

アルマは、神の言葉を説き教えることには大きな効果があると教えました（アルマ 31:5 参照）。アメリカ合衆国テキサス州の若い男性指導者であるデビッド・エルマーはこれを知っていたので、冒険に満ちたスカウトの旅で自分が指導する若い男性たちに、将来に備えられるような意義ある経験をさせたいと思っていました。

エルマー兄弟は祈りの気持ちで何を分かち合えばよいか考えていると、十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老の説教を読むようにという導きを感じました。エルマー兄弟は旅の中でそのメッセージから教え、アンダーセン長老が話したニュージーランド出身のラグビーの花形選手、シドニー・ゴイーグについても話しました。シドニーはスポーツ選手としての活躍を一時中断し、伝道に出たのでした。「皆さんの伝道は、人々をキリストのみもとに導き、救い主の再臨に備える助けをする神聖な機会となるでしょう」とアンダーセン長老は語りました。¹

それは力強い経験になったとエルマー兄弟は語ります。なぜなら彼は生ける預言者の言葉から教えたからです。霊的な集いの最後に、すべての若い男性と指導者は伝道に出ることを誓い、また自分たちが学び、感じたことを思い出せるように、ラグビーボールにサインしました。父親や指導者の多くがその晩遅くまで起きて、伝道によって自分たちの人生がどのような影響を受けたかを若い男性たちに話しました。

「わたしたちが信じているのは一人一人に関心を抱いておられる神です。神はご自分の青少年を御存じです」とエルマー兄弟は証します。「神は彼らの生活や受けているチャレンジ、彼らにどのようなことが起こっているかを把握しておられます。神が彼らの生活でどのように働かれているかはだれにも分かりません。ですからわたしたち指導者は、彼らが御霊を感じられるような環境を準備し、提供する



のです。わたしたちは聖文と預言者の言葉を通してそれを行います。彼らの心に働きかけてくださるのはわたしたちでなく、主なのです。

一貫性を持つ

エルマー兄弟は、若い男性たちが旅を思い出すときに覚えていてほしいことがもう一つあると言います。それは、彼らの福音研究が一貫したものだということです。

「わたしの責任の一つは彼らに御霊を感じる経験をさせることだと感じました。そしてそれが起こるためには、わたしは自分の分を果たし、計画しなければなりません」とエルマー兄弟は語っています。「デビッド・A・ベドナー長老は、生活の中に、聖文研究や祈りや家庭の夕べなど霊的な規範を作り上げることについて教えました。² そして旅に出ていた1週間、わたしたちは霊的な規範を維持し続けました。グループとして祈りました。また、若い男性たちに毎朝10分間の霊的な集いを持つよう責任を与え、父親たちや指導者は夜の霊的な集いを準備しました。

大切なのは、家から離れていたり、いつもとは違った活動に参加したりしていても、霊的な規範は変わらなかったと

日々の活動において、自然な「教えるひととき」を見つける。



いうことです。若い男性たちは自分たちが受けたレッスンを覚えているかもしれませんが、覚えていないかもしれません。しかし霊的な集いや祈り、聖文研究という規範を保ち続けていたことは覚えていてほしいと願っています。」

フィリピンのマイラ・ボコボ・ガルシアもまた、一貫性を持つことの価値を知っています。また、それを教えるのは家庭であることも知っています。ガルシア姉妹と夫のエドウィンは、8歳から22歳までの3人の息子と6人の娘がいて、一人一人が様々な価値ある活動に参加しています。皆がそれぞれ別々の方向に進んでいるので、家族は一貫して夕飯をともに食べられるように努力し続けています。

「ともに食事を作り、楽しく準備して食べるのは、子供たちを集めるのに最適な方法の一つです」とガルシア姉妹は語ります。食事の時間は気分を一新し、互いにつながりを持ち、主の祝福を認め合う時間だと言います。

教え、耳を傾ける機会を活用する

カナダ、ノバスコシアのジョセリン・フィールデンは、6人の子供を育てる中で学んだ最も大切な教訓は、直接教えることだけでなく、「子供たち自身が自分で真理を学べるような環境を作り出すこと」だと語ります。

彼女は「親が性急に子供の代わりに選択をしてしまったり、彼らの質問に答えてしまったりすることがないようにしましょう」と語り、子供たちが「導きや答えを求めて聖典や預言者の勧告を調べられるように」導くよう勧めています。またさらに「彼らが見つけたことについて話し合えるように、いつも心の準備をしていてください」とも付け加えています。また、子供たちから質問される時は、「あなたはどうすべきだと思うの」という質問を返すこともあります。

「子供たちに対し、彼らは正しい選択ができるという信頼を寄せてください」と彼女は語ります。「日々訪れる数々の『教えるひととき』を生かして、子供たちが生活の中で御霊に気づけるように助けるとき、また子供たちが御霊を感じるにはどのようなことかを知るとき、それがきっかけとなって彼らはさらに霊的な経験を求めるようになるでしょう。それによって天の御父とその御子イエス・キリストが実在するという証を強めることができるでしょう。それは相乗効果を生み出し、彼らが御霊を通して得る光と平安を感じれば感じるほど、さらにそれを求めるようになり、生活の中でさらに御霊を豊かに受けられるようにするために様々なことを行おうと努力するようになります。」

彼女の家族にとって効果的だったのは、教会指導者が幾度となく教えてきた原則だったと言います。例えば、家庭の夕べや家族の聖文研究、家族の祈りなどのかきこまった場面でも教えられますが、そのほかにも両親は御霊の導きを得て「教えるひととき」を見つけることができると語ります。³

「わたしたちの家庭では様々な機会に福音を

なぜ福音を固く守ることができたか

テュア・ロジャーズ

わたしは12歳のときにバプテスマを受け、長い間家族の中でたった一人の教会員でした。それは必ずしも楽なことではありませんでした。しかし、幸い良い指導者に恵まれ、助けを受けて福音の原則を学び、学んだ原則を実践して力を得、生活を改善することができました。信じていることに忠実に生きようと決めていたおかげで、生活に大いなる祝福が注がれました。そして、ずっと後になって、家族にも祝福が注がれました。

福音を固く守るのに役立つことを挙げましょう。

- 祈りや聖文研究などを通して天の御父に近づく。御父はわたしたちが置かれている状況を御存じです。わたしは御父に近づくようにしていたので、自分が何者なのかを忘れずにいることができました。
- 教会の指導者の勧告に従う。預言者や使徒の勧告に従っていれば間違いないということを、わたしは経験から知っています。
- 福音を実践すると今も永遠の世でも幸せに生きられるということを知る。わたしはこれを知っていたために、標準と信仰を守ることができました。また、

指導者の勧めに従って神殿に参入しましたが、そのおかげで永遠の命をイメージすることができるようになりました。

- 自分と同じ標準を持つ良い友達とつきあう。わたしは良い友達に恵まれたおかげで、良いことを選んで信仰を保つことができました。
- 家族と親しくする。わたしは家族が大好きで、家族と強いきずなで結ばれたいと思っていました。
- 教会員として生きる。標準に従い、教会のプログラムに参加してください。信仰を示したり、賢明な判断を下したりする助けになるでしょう。賢明な判断ができると物事が円滑に進み、必ず幸せになれる。

教えています。車で活動に向かうときやバスケットボールをするとき、家族で食事をするとき、ともに働くとき、歌うとき、人々に奉仕するときなどはそのほんの数例です」と彼女は語ります。「ほかの活動をしているときも自然に福音について話すことがよくあります。」

共通の目的を目指してともに働く

カヤン・ダニス・モク姉妹は、ブリガム・ヤング大学ハワイ校を卒業して間もなく香港^{ホンコン}の家に帰り、若い女性会長の召しを受けました。家の生活にも慣れ、仕事を始め、大学院での研究を続けながら、若い女性が将来に備えるための証をはぐくむのを助けられるよう熱心に靈感を祈り求めました。

ある日曜日、永遠の視点について教えているとき、モク姉妹は一人の若い女性とモルモン書を読むようにという促しに気づきました。ちょうどその日教会に来たのはその若い女性だけでした。

「顧問の姉妹とわたしはすぐにその促しに従い、この若い女性を交えてチームとしてモルモン書を読み終える目標を立てました」とモク姉妹は語ります。「彼女は、3人いっしょに目標を達成しようとしていることを知って、何のためらいもなくチャレンジを受け入れました。」

そのときから、モク姉妹と顧問の姉妹とこの若い女性の3人はフェイスブックに「友達制度」を作り、モルモン書を読むのを忘れないようにメッセージを送り合ったり、学んだことを分かち合ったりするようになりました。

モク姉妹は、この若い女性が聖文研究を始めたことで彼女の生活に大きな変化が起こるのを実際に目にしたと言います。モク姉妹自身も、通勤電車で日々聖文を読むことで祝福を得ました。「わたしも、人生で前進し続ける中で御霊を感じ、祈りの答えを受けました」と語ります。

モク姉妹はこう続けています。「わたしの経験では、青少年の中には、ほんとうに自分もほかの人のように証を得たり、霊的な経験をしたりできるのだろうかかと心配したり、確信を持てなかつたりする人がいます。若人とともに働く中で、わたしたちは彼らが歩む一歩一歩を応援するためにそばにいて確信してもらえるようにしています。」■

注

1. ニール・L・アンダーセン「この世を再臨に備える」『リアホナ』2011年5月号、51
2. デビッド・A・ベドナー「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わる」『リアホナ』2009年11月号、17-20 参照
3. 例——ロバート・D・ヘイルズ「神に対するわたしたちの義務——次の世代に対する親と指導者の使命」『リアホナ』2010年5月号、95-98、デビッド・A・ベドナー「家庭でもっと勤勉に家庭のことに携わる」『リアホナ』2009年11月号、17-20 参照



七十人
ポール・B・
パイパー長老

アルマ書—— 現代の わたしたちへの教訓

ニーファイ人は自分たちの時代の試練を忠実に堪え忍びました。
ですから彼らは、現代の試練に立ち向かうために必要な祝福と守りを
主が与えてくださることに証人なのです。

モーサヤ王はその統治を終えるに当たり、王による専制を避けるために民から選ばれたさばきつかさが民を治めるという制度を提案しました。この制度は、神から与えられた律法に基づいて、民から選出されるさばきつかさが治めるというものでした。

選択の自由の原則がこの制度の土台となっていました。王ではなく個人が、律法に従って行動する義務と報告責任を負うことになったのです。「民の声が正しいことに反する事柄を望むのはまれ」ですから（モーサヤ 29：26）、この制度が施行されれば、個人の権利と社会全体の義が守られるだろうと思われました。

モーサヤがこの案を提示すると、民は「国中のすべての人が平等な機会を得ることを非常に切望するようになった。そして、すべての人が自分自身の罪の責任を喜んで負うことを言明し[まし]た。」（モーサヤ 29：38）

アルマ書には、この制度が民によって採択されてから40年間の歴史が書かれています。アルマの記録の最後の数章、つまり43章から62章には、ひどい苦しみと試練の時期を語る記述があります。この19年という短い期間に民が経験したのは、国内の政治抗争や外敵の脅威、それにほとんど絶え間なく起こっていた戦争でした。

王になろうとする男が民の中から現れて、指導者を選ぶ権利と自由に礼拝する権利を民から奪おうとしたために、政治体制が危うくなったことが2度ありました。民は同じ時期にレーマン人から度重なる攻撃を受けており、この外敵からも自分たちを守らなければなりませんでした。レーマン人は断固たる決意でニーファイ人政府を滅ぼし、ニーファイ人を支配下に置こうとしていたのです。

特に記述はないのですが、次々に起こるこれらの問題が経済に打撃を与えたことも、



これらすべての
試練を通じて、
義になつた
ニーファイ人は、
ふさわしい動機に
基づいて行動している
という事実から
力を得ることが
できました。
彼らの目的はただ一つ、
「自分自身と家族、
土地、国、権利、
宗教を守る」こと
だけでした。

民にとっては大きな試練だったと思われます。モルモンはこの神聖な記録をまとめるに当たって、この時期について詳細な記録を残すべきだと感じました。もしも実際に、ニーファイ人の残り1,000年の歴史も同じように詳しく書いたら、モルモン書は2,500ページを超えていたことになるのです。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899 - 1994年）は、次のように教えています。

「モルモン書〔は〕わたしたちの時代のために書かれ〔ました〕。ニーファイ人たちにも、古代のレーマン人たちにもモルモン書はありませんでした。まさにわたしたちのためのものなのです。……すべてを初めから見ておられる神の靈感の下に、モルモンはわたしたちのためになる物語、話、出来事に関する記録を選んで短くまとめたのでした。……

『この記録をモルモン（モロナイあるいはアルマ）に書くよう主が靈感を与えたもうたのはなぜだろうか、現代の生活への教訓として何を学べるのだろうか』と絶えず自問する必要があります。』¹

今日、全世界の末日聖徒は、ニーファイ人がその歴史の中でこの時期に経験したのと同じ問題に直面しています。それには、礼拝する権利と、自分が暮らす社会の重要問題について公に発言する権利を会員から奪おうとする動きも含まれます。末日聖徒の中には、外敵の脅威と、祖国と自由を断固として滅ぼそうとする勢力の脅威を感じている人たちもいます。

幸いなことに、ニーファイ人は多大な努力と犠牲を払い、主の助けを受けて、これらの試練を克服することができました。彼らは問題にどう対処したのでしょうか。そこから学べる教訓を幾つか挙げましょう。これはわたしたちが現在直面している問題に立ち向かうための指針となり、勇気の源となるかもしれません。

1. ふさわしい望みと動機を持つ。

これらすべての試練を通じて、義にかなったニーファイ人は、ふさわしい動機に基づいて行動しているという事実から力を得ることができました。彼らの目的は、「自分自身と家族、土地、国、権利、宗教を守る」ことだけだったのです（アルマ43：47）。彼らの望みは、選択の自由を守ることでした。王に行動を指示されるより、義にかなった行いをして

自分の行動に責任を持つほうが良いと考えたのです。彼らが求めたのは、法の下での平等を守ること、特に、神を礼拝し、自分たちの教会を維持する自由を守ることでした（アルマ43：9, 45 参照）。

社会には、世の人々の意見を操って個人的な利得のために権力を得ようとする勢力があるものです。これは将来も変わらないでしょう。そのようなたくらみに同調して、小競り合いを権力闘争に転化させようとする誘惑もあります。主の道は、ニーファイ人のように常に純粋な望みと動機に基づいて行動することです。ニーファイ人はそうすることによって天の力に頼り、「主の力をもって」試練を克服することができました（アルマ46：20。アルマ60：16；61：18も参照）。

同じようにわたしたちも、今日直面している問題に対処するに当たり、自分の心を常に確かめて、望みと動機が純粋なものか、イエス・キリストの福音の原則に基づいているかを確認しなければなりません。もしも、利己心や個人的な利益のため、人をおとしめるために行動しているのであれば（または、人に行動させているのであれば）、問題を克服するに必要な力を天から頂くことはできません。

2. 不遇な人に親切にし、惜しみなく施す。

かつて敵であったアンタイ・ニーファイ・リーハイ人は、滅亡の脅威にさらされたとき、ニーファイ人の意見によって生活の場所、新しい生活を築く場所を与えられ、敵からも守られることになりました（アルマ27：21 - 22；43：11 - 12 参照）。アンタイ・ニーファイ・リーハイ人は戦いの武器を二度と取らないという誓いを立てていたため、代償として、このような危うい時期にニーファイ人の軍隊を「支援するために自分たちの持ち物の多くを提供」しました（アルマ43：13）。しかし、政治的な分裂をもくろむ人々のかっこうの標的になってもおかしくなかったこの移民に対して、ニーファイ人は敬意と愛をもって対応したとしか記録されていません。

後にアンモンアンモンの民と呼ばれるようになったこの民に対して、ニーファイ人が思いやりのある対応をしたことは報われ、歴史に残る感動的な軍隊の一つが後に組織されます。2,000人の若い兵士たちです。皮肉なことに、この若者たちの働きは、ニーファイ人の社会を早期の崩壊から守る鍵となっていたとも考えられるのです。



困っている人に
喜んで
思いやりを示し、
惜しみなく
与えたことは、
ニーファイ人の
国家を守った
大切な要素であり、
ニーファイ人が
窮地に
立たされたときに
天の祝福を
受けられたのは
そのためでした。
ニーファイ人が
アンモンの民に
思いやりのある対応を
したことは報われ、
結局は
2,000人の
兵士の軍隊を
結成することに
つながりました。

内部抗争や外敵からの攻撃、経済的な問題のある時期には、「自分たちと異なる」者に対して否定的な感情が生まれがちです。人は簡単に、そのような人たちを批判したり裁いたりするようになります。このような移民に対しては、忠誠の度合いや社会的な価値、経済の安定に及ぼす影響に疑問を持つ人がいてもおかしくありません。このように否定的な感情を抱くことは、隣人を愛しなさいという救い主の戒めに反することであり、そこから生まれるのは分裂や争い、排他的な行動です。アンモンの民がニーファイ人社会に好意的に受け入れられていなかったとしたら、若者たちの心には感謝ではなく憎しみが育っていたかもしれません。2,000人の忠実な兵士が誕生する代わりに、若い世代はのけ者にされ、レーマン人の仲間に戻っていたかもしれないのです。

困っている人に喜んで思いやりを示し、惜しみなく与えたことは、ニーファイ人の国家を守った大切な要素であり、ニーファイ人が窮地に立たされたときに天の祝福を受けられたのはそのためでした。今日、神の民にはそのような祝福が必要です。

3. 靈感を受けた指導者の勧告に耳を傾け、それに従う。

ニーファイ人が直面することになる問題を知っておられたので、主は靈感を受けた指導者を立てて、彼らが問題を克服できるようになさいました。司令官モロナイは軍人でしたが、靈感を受けて胸当てや盾、頭部を守る防具、厚手の衣を作り、兵士の体を保護しました(アルマ 43:19 参照)。その結果、戦闘でニーファイ人は、レーマン人よりもはるかに有利に立ち回ることができました(アルマ 43:37-38 参照)。その後モロナイは、自分たちの町の周りに土を盛り上げ、盛り上げた土の上に木材の建造物と先端のとがった杭の柵を人々に作らせました(アルマ 50:1-3 参照)。この靈感を受けた準備のおかげで、ニーファイ人は滅亡を免れることができたのです。

モロナイが戦いの準備を進めている間、ヒラマンとその兄弟たちは、神の言葉を説き、正しいことを行うよう勧めて、人々が主の御霊の導きと守りを受けられるようにしました。靈感を受けた指導者の実務面の指示と霊的な勧めに聞き従ったおかげで、ニーファイ人は守られたのです。内部抗争が起こり、人々が靈感を受けた警告に耳を貸さなくなると、ニーファイ人は敗北を喫し、苦しむようになりました。

わたしたちは祝福されて、主が生ける預言者、聖見者、啓示者を召しておられる時代に生を受けています。今日の問題に対して備えることができるよう、主は預言者を通してわたしたちに警告と導きを与えてくださいます。1998年にゴードン・B・ヒンクレー大管長(1910-2008年)は、教会員に靈感あふれる指示と警告を与えています。

「家を整える時期が来ているということです。

教会員の中でぎりぎりの生活をしている人が多くいます。中には借金生活の人もいます。……

経済はもろいものです。……これから経済面の嵐が予想されますから、注意する必要があります。」²

最近、ヒンクレー大管長の話を聞いて御霊の導きを感じたという男性と話しました。この男性とその妻は、投資金を清算して家のローンを完済し、負債をなくしました。

現在、この男性は自立しています。ローン完済後不景気になりましたが、家族への影響は最小限にとどまりました。実は、こうして自立したおかげで、この男性は奥さんと一緒に伝道に出ることができたのです。

トーマス・S・モンソン大管長は、わたしたちの時代のために召されています。彼の生き方と彼の教えは、今日のわたしたちを守り、祝福するために神が送ってくださったメッセージです。何かがないと不安を感じる人が多い時代にあつて、モンソン大管長は、主が与えてくださる多くの祝福に感謝するよう教えています。そして、自分のことしか考えない人が多い時代にあつて、自分を忘れて人に祝福を与え、手を差し伸べ、助けなさいとモンソン大管長は勧めているのです。モンソン大管長の指示に注意を向けるならば、わたしたちの家族は霊的に守られ、今の時代に必要な祝福が注がれるでしょう。

わたしは、福音が回復された時代に生きていることに感謝しています。わたしたちの時代のために、主がモルモン書を用意してくださったことに感謝しています。ニーファイ人は自分たちの時代の試練を忠実に堪え忍びました。ですから彼らは、現代の試練に立ち向かうために必要な祝福と守りを主が与えてくださることの証人なのです。■

注

1. エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経——わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6
2. ゴードン・B・ヒンクレー「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」『リアホナ』1999年1月号, 61



モロナイのように
靈感を受けた指導者の
実務面の指示と
霊的な勧めに
聞き従ったおかげで、
ニーファイ人は
守られたのです。
内部抗争が起こって
靈感を受けた警告に
人々が耳を
傾けなくなったときにのみ
敗北を喫し、
苦しみました。

敵陣で **生き抜く** 方法



十二使徒定員会
会長
ボイド・K・
パッカー会長

教 会のセミナーの100周年を祝い、わたしは歴史の糸をたぐり寄せて、このプログラムに人材も資料もほとんどなかった初期の時代にさかのぼってみたいと思います。

スタート時は小さな組織でしたが、現在セミナーのクラスは全世界143か国で開かれており、そこでは37万5,008人の生徒が学び、3万8,000人のボランティア教師と専任教師が働いています。わたしたちは教会の青少年に多大な投資をしています。わたしたちは皆さんの価値と可能性を知っているのです。

知恵は敵との戦いに役立つ

わたしは過去を見てきた者として、皆さんが将来のために備えるのに役立つ話をします。

皆さんは敵陣の中で成長しています。霊的に成熟するようになると、いかにサタンが皆さんの周囲の世界に潜入しているかが分かるようになります。サタンは家庭や娯楽、メディア、

言葉など、皆さんを取り巻くあらゆるものに潜んでいます。たいいていの場合、人はその存在に気づきません。

わたしは、最も価値のあるもの、最も望ましいものについて皆さんに話したいと思います。聖文には「知恵の初めはこれである、知恵を得よ」(箴言4:7)と書かれています。わたしはこれに、次の言葉を付け加えたいと思います。「あなたが何を得るにしても、急ぎなさい。」わたしには無駄にする時間などありませんし、皆さんも同じでしょう。ですから、よく聞いてください。

わたしは、教師になろうと決意したときのことをはっきりと覚えています。第二次世界大戦中、20代初めのころ、わたしは空軍のパイロットでした。伊江島という小さな島に駐屯していました。それは、沖縄北端のすぐ先にある、地図で見ると郵便切手ほどの大きさの小さな孤島でした。

ある夏の日の夕方、わたしは独りで断崖の上の岩に座り、日が沈むのを眺めていました。戦争が終わって、運よく生きて帰れたら何をしようかと考えていました。自分は何になればいいのだろうか。その晩わたしは、教師になろうと決心しました。教師は常に学ぶものだから、というのがその理由でした。学ぶことは人生の根本的な目的です。

わたしは1949年にブリガム・シティで、初めてセミナーを教えました。わたしは高校時代、そこのセミナーの生徒でした。

セミナーにはもともと、3つのコースがありました。旧約聖書、新約聖書、それに教会歴史です。わたしはそこにモルモン書の早朝クラスを追加する特権にあずかりました。わたしが戦争から持ち帰ったのは、モルモン書の証と、聖霊の賜物の働き方についての理解でした。

聖霊の賜物は敵陣であなたを守る

皆さんはこれまでずっと、聖霊の賜物について教えられてきましたが、教えることのできるのはそこまでです。それから先は皆さんが自分独りで進み、聖霊がどのようにして導きと守りの力になるのか、自分で見いだすことができます。実際、その先は自分で進まなければならないのです。

若い男女にとって、その過程は同じです。聖霊が自分の人生の中でどう働かれるかを見いだすのは、生涯をかけて取り組む課題です。一度これを自分で見いだすと、敵陣の中でも生活することができます。欺かれたり減ぼされたりすることはありません。この教会の会員、つまり皆さん一人一人は、最初に聖霊のささやきによる警告を受けないまま、重大な過ちを犯すことは決してないでしょう。

過ちを犯した後で、「あんなことをするべきでないことは分かっていた。いい気持ちがしなかった」とか、「そうする

べきだということは分かっていた。実行する勇気がなかっただけだ」などと言ったことがあるのではないのでしょうか。このような思いは、皆さんを良い道に導こうとしたり、危険を避けるよう警告したりする聖霊の働きなのです。

聖霊の導きを受ける伝達回路がうまく機能するためには、してはならないことが幾つかあります。うそや欺き、盗み、不道徳な行いです。これらのことを避けるならば、この伝達回路が妨げられることはありません。霊的な導きを遮断するような場所へ行ってはなりません。

受けられる力と導きを求めるようにしなければなりません。そして、導きを受けたら、何が起ころうとそれに従うのです。

皆さんが実行するべきことのリストにはまず、**祈る**ことを入れてください。たいいていの場合、皆さんは声を出さずに祈ると思います。心の中で祈ってもよいのです。

皆さんはいつでも、天の御父と直接話すことができます。あなたの祈りなどだれも聞いていないというサタンの声に、耳を貸してはなりません。天の御父はあなたの祈りをいつも聞いておられます。皆さんは決して独りではありません。

自分の体を大切にしてください。清潔に保ちましょう。「あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか。」(1コリント3:16)

教義と聖約第89章にある約束をよく読んでください。知恵の言葉は完全な健康を約束しているわけではありませんが、それを守ることによって、皆さんの中にある、御霊に対する感受性が強くなるでしょう。

入れ墨など、体を傷つけるものを避けてください。皆さんの体は、神の形に作られたのです。

預言者の勧告から何が真実かを学ぶ

では、ある別の問題について、率直に話したいと思います。

わたしたちは、性別が前世で決まっていたことを知っています。¹「霊と体が人を成す」のです(教義と聖約88:15)。この性別の問題について、幹部の兄弟たちは、道徳に関するあらゆる問題と同様に、深い懸念を抱いています。

皆さんの中には、生まれつき自分の性別に違和感を持っている人がいるかもしれません。違和感をなくそうとする衝動に駆られて行動しても罪ではないと言われたことのある人もいるでしょう。もしそれが正しいのであれば、教義的には、皆さんの選択の自由はなくなることになりませんが、それは起こりえません。聖霊の促しに従って道徳的に清い貞潔な生活、徳に満ちた生活を送ることは、いつでもできるのです。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、総大会で次の言葉を述べました。「人々は、自分のことをいわゆるゲイやレズビ

アン……だと考えている人たちについて、わたしたちの教会がどのような見解を持っているか、尋ねます。それに対するわたしの答えはこうです。わたしたちはそうした人たちを神の息子娘として愛しているということです。そういう人たちは、強力で、恐らくは抑制し難い性癖のようなものを持っているのかもしれませんが。大部分の人々は、折にふれて、何らかの性癖を持っていることに気づきます。そうした性癖に従って行動を起こさないかぎり、その人は、ほかのあらゆる教会員と同様に、前進を続けることができます。しかし、貞潔の律法や道徳の標準を犯すようなことがあれば、ほかの違背行為と同様に、教会にあって宗紀の対象となります。

わたしたちはそのような問題を抱えている人々を助け、強め、援助の手を差し伸べたいと考えています。しかし、そのような人たちが、不道徳な行為にふけるようになったり、あるいは、いわゆる同性結婚を唱導し、擁護し、また実際にその趣旨に従って生活するようになれば、わたしたちとしてはそれを見過ごしにしておくわけにはいきません。そのようなことを許容するということは、神が定められた重大で神聖な結婚の基盤やその真の目的、すなわち家族を養い育てるという目的を軽視することにもなりかねないからです。²

ヒンクレー大管長は、教会を代表して話していました。

心の平安を保ち、取り戻すために選択の自由を使う

アダムとエバに最初に与えられた賜物は選択の自由でした。「あなたは自分で選ぶことができる。それはあなたに任されているからである。」(モーセ3:17)

皆さんは、それと同じ選択の自由を持っています。それを賢明に用いて、心の中に忍び込む汚れた衝動や不道徳な誘惑に従って行動することのないようにしてください。とにかく、汚れた場所に行かないでください。既にそのような場所にいるのならば、そこから出てください。「神の御心みこころに添わないものをすべて拒みなさい。」(モロナイ10:32)

皆さんの体の中にある命を生み出す力を独りでもてあそばないでください。男性と一緒にあそんでも、女性と一緒にあそんでもいけません。これは教会の標準であり、変わることはありません。成熟するにつれて、不道徳な行いを試してみたいという誘惑に駆られます。そのようなことをしてはなりません。

鍵となる言葉は、鍛錬、つまり自制です。鍛錬という言葉は、弟子または信奉者という言葉から派生しています。救い主の弟子、救い主に従う者になってください。そうすれば安全です。

皆さんの中には、「すでに重大な過ちをあれこれ犯してし

まっているから、もう遅すぎる」と考えている人が一人や二人いるかもしれません。遅すぎることなど決してありません。

皆さんは、家庭やセミナーでイエス・キリストの贖罪しゅくざいについて教わってきました。贖罪は消しゴムのようなものです。罪を消し、罪悪感の原因が何であれ、その影響力を消し去ることができます。

罪悪感は霊的な苦しみです。根深い苦痛に苦しまないようにしてください。そのような思いを取り除き、くよくよ悩むのはやめましょう。悔い改めましょう。必要であれば、何度でも何度でも繰り返し悔い改めてください。敵に征服されるのではなく、自分を制することができるようになるまで悔い改めるのです。

しばしば悔い改めることによって永続する平安が得られる

人生は結局、試行錯誤の連続です。皆さんのすべきことのリストに「しばしば悔い改める」ことも入れてください。そうすると、この世のどんな代価を払っても買うことのできない永続する平安が得られるでしょう。贖罪は、皆さんが若いうちに学べることの中で最も大切な真理の一つかもしれません。

皆さんを成長させるのではなく引きずり落とす人ときあっているなら、そのつきあいをやめて、別の人ときあいましょう。時には独りぼっちで寂しくなるかもしれません。そのようなとき、大切なことを自問してみましょう。「あなた自身は、信頼できる人ですか。」

染みついた性癖から抜け出すのは難しいかもしれません。しかし、皆さんには、内に秘めた力があります。あきらめないでください。預言者ジョセフ・スミスは「肉体を持つすべての者は、肉体を持たない者を支配する力を持つ」と教えています。³ 皆さんは誘惑に打ち勝つことができますのです。

皆さんが直接サタンに会うことはまずないでしょう。サタンがそのような姿を現すことはありません。しかし、サタンがもしも面と向かって皆さんのところにやって来て皆さんを試し、誘惑しようとしたとしても、皆さんの方が有利です。皆さんは選択の自由を用いることができます。それを用いれば、サタンは皆さんに手出しすることができません。

セミナーの祝福を生かす

皆さんは普通の人たちではありません。非常に特別な優れた人たちです。どうしてそれが分かるのでしょうか。それは、皆さんが、家庭や末日聖徒イエス・キリスト教会の教えや活動を通してイエス・キリストの福音を生活に取り入れることのできる時代と場所に生まれてきたからです。この教会は、主御自身の言葉によると、「全地の面に唯一

まことの生ける教会」です(教義と聖約1:30)。

行うべきリストに付け加えたいことはほかにもありますが、皆さんには、人生でやるべきこととやるべきでないことが分かっています。皆さんは善悪を見分けることができるのですから、いちいち命令されることなく、何でもすることができます。

セミナーで学んできた時間を無駄にしないでください。教会の教義と預言者の教えを学ぶという偉大な祝福を生かしてください。最も価値のあることを学んでください。それは皆さんにとって祝福となり、その祝福は何世代にもわたって皆さんの子孫に注がれます。

何年かすると皆さんは結婚し、子供が生まれるでしょう。神殿で結び固められる結婚をしてください。皆さんがやがて所属ワードまたは支部に無事落ち着くことがわたしの願いです。

希望と信仰をもって前進する

将来に不安を抱かないでください。希望と信仰をもって前進してください。聖霊という高貴な賜物があることを忘れないでください。聖霊から教えを受けることを学んでください。聖霊を求め^くることを学んでください。聖霊を伴侶として生活することを学んでください。イエス・キリストの御名^みによって常に祈ることを学んでください(3ニーファイ18:19-20参照)。主の御霊が皆さんに降り、皆さんは祝福されるでしょう。

わたしたちは皆さんを深く信頼しています。

わたしには証があります。それは、若いころに得た証です。そして、皆さんはわたしと何ら変わるところのない人間です。皆さんにも同じ証を得る権利があります。努力するならば、皆さんもその証を得るでしょう。主の祝福が皆さんのうえにあるよう祈ります。その証という祝福が生活の中で得られ、それに導かれて皆さんが幸せな未来を築くことができますように。■

この話は2012年1月22日に行われたセミナー100周年記念の放送での説教を基に書かれました。

注

- 1.「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129参照; モーセ3:5; アブラハム3:22-23も参照
2. ゴードン・B・ヒンクレー「人々がわたしたちについて尋ねること」『リアホナ』1999年1月号, 77
- 3.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』211



説教全体を参照するには

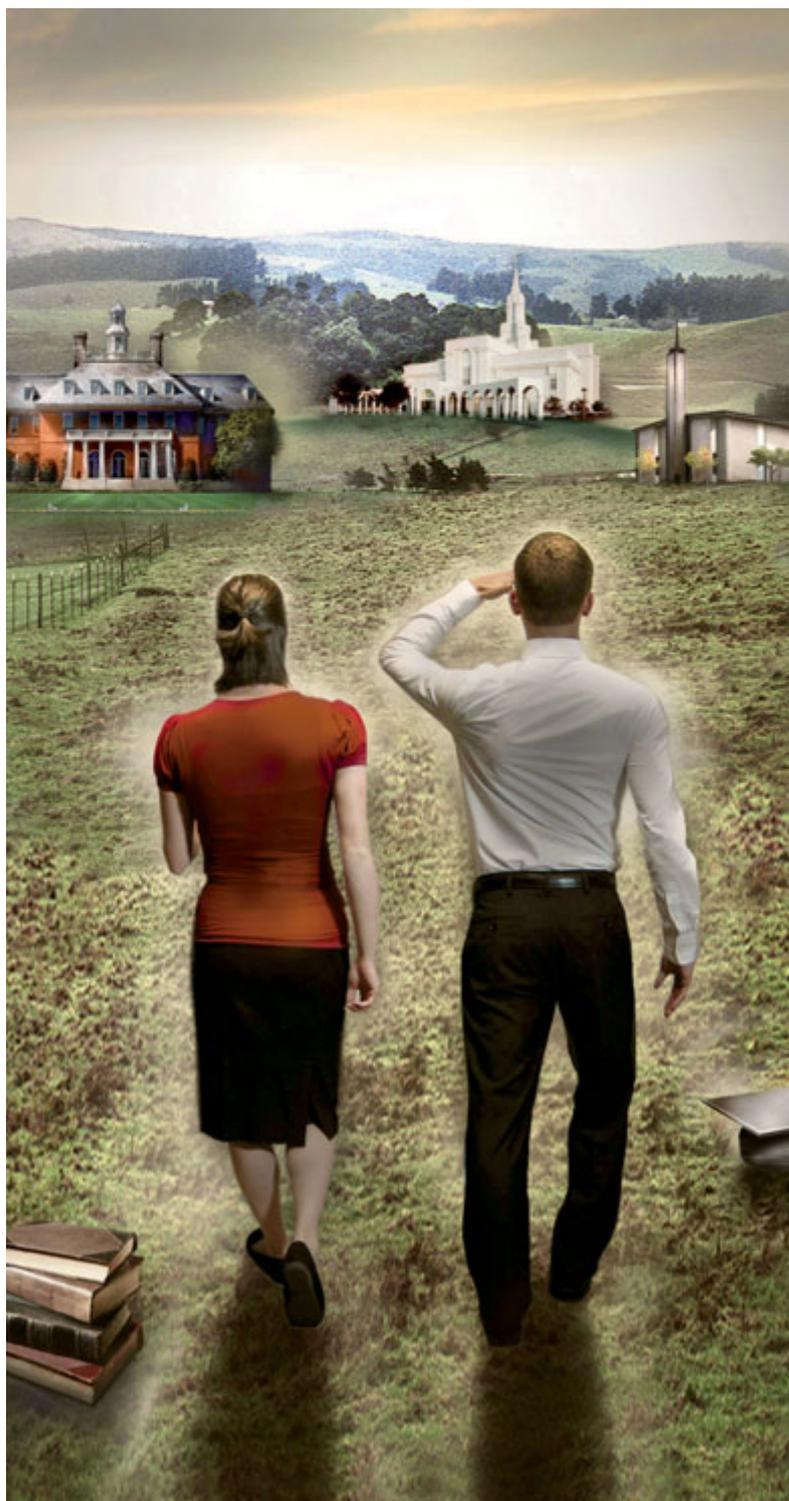
パッカー会長の説教の全体は、seminary.lds.org/history/centennial で視聴することができます。



セミナーで学んできた時間を無駄にしないでください。

教会の教義と預言者の教えを学ぶという偉大な祝福を生かしてください。

最も価値のあることを学んでください。



勇気を求めて祈りました

わたしの両親は教会員ですが、あまり活発ではありません。それが原因で衝突が生じることがあります。両親は家族の時間をほかの何よりも、例えば、教会に出席することや教会の召しを尊んで大なるものとする、そのほかの活動を行うことよりも優先するべきであると信じているからです。

わたしは初等協会の指導者であり、ワード聖歌隊の隊員です。時折、教会の集会が家庭での務めを果たすうえで、妨げとなることがあります。ある日のこと、アンタナナリボの集会所で行われる総大会放送に出かける準備をしているときに、その日は我が家に来客があるからと両親に念を押されました。

「家族と教会のどちらかを選びなさい。」母はわたしにそう言いました。「わたしたちと一緒にいて大会を欠席するか、大会に出席して罰を受けるか、二つに一つよ。」

わたしは母との言い争いは避けることにしました。その代わりに、勇気と力を与えてくださるよう、しばらくの間、天の御父にお願いしました。また、どうしたらよいか分かるよう助けてくださいとお願いしました。家族とともにとどまるべきか、それとも教会に行き預言者の声を聞くべきか尋ね求めたのです。

祈り終わるとすぐに、わたしは聖霊を感じるようになりました。大会に行き預言者の言葉を聞くことが、自分にとってどれほど大切であるかを母に伝えるよう、聖霊が促しておられるのを感じる事ができたのです。自分の今の生活だけでなく、将来についても賢明な助言が受けられるということを経験するべきであると感じたのです。

神は不思議なことを行う力を持っておられ、わたしが大会に行くことを許してもらえるように、両親の心を和らげてくださいました。罰を受けることもありませんでした。これはわたしの人生

祈り終わるとすぐに、
わたしは、
預言者の言葉を
聞くことが
自分にとってどれほど
大切であるかを
母に伝えるよう、
聖霊が
促しておられるの
を感じる事が
できたのです。

で起こった特筆すべき出来事でした。この経験を通して、わたしは次の聖文が真実であることを確信することができました。「聖霊の力によって、[わたしたち]はすべてのことの真理を知るのである。」(モロナイ 10:5)

わたしは、福音の原則に基づいて行動し、御霊に耳を傾けるならば、いつも自分の選択に満足を感じる事ができるということを知っています。この経験のおかげで、神がわたしたちとともにいてくださり、聖霊が日々の生活でわたしたちを助けてくださるという証が強くなりました。■

ファイ・ティアナリベロ
(マダガスカル)



わたしの居場所

教会に加わる前、わたしの人生には悲しいことばかり起こりました。わたしが7歳のときに両親が離婚し、その後、父は刑務所に入りました。母はアルコール依存症によって大切なものをすべて失いました。わたしは里親家族のもとに引き取られ、そこで生活するようになりました。

このような境遇に育ったわたしには、同年代の子供たちよりもかなり大人びたところがありました。自分の居場所を見つけることができるとは思っていませんでしたので、いつも反抗的でした。まだ年端もいかない子供のころからたばこを吸い始め、そのほかにも、今でこそ知恵の言葉に反すると分かる数々のことを始めました。人生で挫折する運命なのだと確信していました。

そんなわたしが唯一心からの喜びを感じたのは、人の助けになることでした。それが一緒に掃除をすることであれ、身の上話を聞いてあげることであれ、何でもよかったです。自分は頼れる人間なのだと周囲の人々に心底知ってほしかったのです。ある年のこと、休暇を過ごしていたときに、一人の年長いた女性に出会いました。お役に立てればと思ひ、その女性の話に耳を傾けることにしました。彼女はクリスチャンで、宗教のことについて話し始めました。

それまでのわたしは、神をほんとうに信じたことはありませんでした。時折、もしかしたら神は存在するかもしれないと思うことはありました。そんなときには、自分の身に降りかかった数々の苦しい経験について、神を責めました。けれども、この女性が神を信じる信仰の大切さについて語ったときに、好奇心をそそられたのです。別れる前に、彼女は特に興味深いことを言いました。「モルモンは

神の戒めに従っているのよ。」

わたしはそれまでモルモンについて何も聞いたことがありませんでしたので、帰宅すると、インターネットでモルモンについて調べてみました。わたしはMormon.orgにアクセスし、モルモン書を1冊注文しました。数日後、宣教師がこの本を持って来てくれました。

わたしは、神を信じることができるかどうか確信が持てませんでした。宣教師は神を信じるだけでなく、神を知ることができるということに気づけるよう、わたしを助けてくれました。祈りをささげ、モルモン書を学び始めたときに、わたしは自分が幸福を見いだすすばらしい旅の途上にいることに気づきました。わたしはたばこをやめました。神を責めるのもやめ、自分の人生に注がれた神の恵みに感謝し始めました。神の御子はわたしの罪のために苦しめただけでなく、わたしがこれまでに受けてきたすべての苦痛をも受けられたのだということが分かるようになりました。2007年10月28日、わたしはバプテスマを受け、主の教会の会員となりました。

幻滅から幸福への心の変化を実際

別れる前に、彼女は特に興味深いことを言いました。

「モルモンは神の戒めに従っているのよ。」



に自分で経験したのでなければ、わたしは、ほんとうにそんなことが起こり得るなど信じられなかったことでしょう。今、わたしは初等協会の召しを喜んで果たし、ポーランドでヤングシングルアダルトの大会が行われたときに、奉仕プロジェクトを組織する手伝いができたことに感謝しています。教会における奉仕を通していつもほかの人を助ける機会に恵まれることによって、イエス・キリストの福音にさらなる幸福を見いだしています。今、わたしはあらゆることをイエス・キリストの純粋な愛をもって行っています。人生はすばらしく、たとえ試練を受けていても、救い主に従っているかぎり、道を踏み外すことはないと確信しています。

神を信じることはきわめて大切なことである、とわたしの出会った女性が言っていたことは正しかったのです。神を知らなければ、わたしたちはこの世界で自分の居場所を見いだすことはできません。わたしはついに自分の確かな居場所を持てたことに感謝しています。■

ドロタ・ムジアル (ポーランド)

あなたの教会について教えてください

兄を訪問する旅の途上、わたしは飛行機後部の、客室乗務員の座席付近に座っていました。そこには2列の座席が向かい合う形で並んでいました。

わたしは周りの人たちに自己紹介をし、自分はこれからブリガム・ヤング大学に入学することになっていると告げました。向かい側に座っている一人の男性が、娘には専任宣教師として伝道に出たばかりの親しい友人がいると話してくれました。教会について男性の娘は少し知っていましたが、彼自身はほとんど何も知りませんでした。客室乗務員の一人が、即座にきっぱりと、自分は「その教会」には入りたくないと言いました。女性を否定する教会だというのがその理由でした。先ほどの男性が、自分も同じようなことを耳にしたことがあると言いました。それは末日聖徒の女性は男性よりも劣っていると考えられており、女性は神権を持つことや集会を管理することができず、この教会が男性優位の教会だということです。

それから、彼はわたしの方を向くと、こう尋ねました。「君はこの点についてどう思うのかな？」7人が一斉にわたしの方を向いて、答えを待ちました。

胸がどきどきし始めました。子供のころ信仰箇条を暗記したのは、そのような瞬間に備えるためでしたし、10代のころ、またヤングアダルトとして、ジョセフ・スミスの示現やモルモン書について証する練習をしたことあかしもありました。しかし、その男性の質問にどう答えたらよいのかよく分かりませんでした。心の中で天の御父に導きを求めて祈りました。

そのような中で、わたしは自分の心

に最初に浮かんだ言葉を口にしたのです。「皆さんは扶助協会について御存じないだけです。」彼らの表情から、扶助協会については聞いたことがないということが分かりました。

「神権は女性の協力があって初めて機能します。女性は皆、扶助協会の会員です。」わたしはそう説明しました。「扶助協会の会長は女性で、全世界の教会に集う女性の活動を指導します。女性の責任は、教会員の生活、特に家族の生活で思いやりと慈愛を実践することです。」

周りの人たちはわたしの話にじっと耳を傾けました。

「わたしたちは、女性が男性のように行動し、考え、男性のようになりたいと望む女性もいる不思議な時代に暮らしています。しかし、神は男性と女性に異なる務めを与えられました。わたし

たちはそう信じています。女性は女性の中で指導者となり、また家庭にあっては男性と共同の指導者となります。男性はこうした分野で女性の助言に頼ることが多々あります。このようにして正しいバランスを取ることができます。このようなバランスがあるからこそ教会の組織とわたしたちの家庭はうまくいくのです。またわたしたちは、主にあっては男なしには女はないし、女なしには男はないという聖書の言葉を文字どおり信じています(1コリント11:11参照)。完全になるためには互いを必要としていると信じています。男性と女性は競争し合うためではなく、補い合うために創造されたということ

を信じているのです。」
話し終えたとき、わたしは主の恵みを感じました。自分の口から出た言葉は御霊みたまによるものだと分かりました。

わたしは自分の心に
最初に浮かんだ言葉を口にしたのです。
「皆さんは扶助協会について
御存じないだけです。」



だれもがわたしの説明に納得しました。そして質問をした男性がこう言ったのです。「あなたの教会についてもっと教えてください。」

それから2時間にわたって、わたしは回復について語り、質問に答え、自分の愛する福音について証するという喜びに満ちた機会にあずかりました。■

シャーナ・ムーア
(アメリカ合衆国、バージニア州)

仕事と教会、 どちらを選べば よいのでしょうか

わたしたちは1981年に東京神殿で結婚しました。結婚当初の生活は、たやすいものではありませんでした。働き口があることに感謝してはいましたが、家計をやり繰りするのに苦勞していました。わたしたちは天の御父に助けを祈り求めました。また、生計を立て、^{しゅうぶん} 什分の一を納めるために、自分たちの力でできることはすべて行いました。わたしたちは、主を信頼すれば、主が養ってくださることを知っていました。

ある週のこと、妻と友人がそれぞれ同じ新聞の小さな切り抜きをわたしに持って来てくれました。それは英会話常勤講師の募集広告でした。その会社に履歴書を送ったところ、面接を受けに来てほしいと言われました。面接の終わりの方で、面接官からこう尋ねられました。「あなたの履歴書には『末日聖徒イエス・キリスト教会

の宣教師としてボランティア活動に従事』と書かれています。つまり、毎週日曜日には教会に行くということですね。では、日曜日に教会へ行くか、仕事をするか決めなければならないとしたら、どちらを選びますか。」

それは答えにくい質問でした。というのも、より良い仕事を必要としていたからです。しかし、よく考えた末こう答えました。「教会に行くと思います。」

微妙な笑みを浮かべながら、面接官はこうつぶやきました。「ふーん、なるほど。」面接官は、面接の終了を告げ、その日の夕方までには会社としての結論を出すので、そのころに結果を確認するための電話をするようにと言われました。退室しながら、わたしはこの面接に失敗してしまったと思いました。

夕方遅く、電話をかける時がやって来ました。わたしは恐る恐るその会社に電話をかけました。

「面接の結果をお伺いしたいのです。」わたしは秘書の女性にそう尋ねました。「だめだったんですね?」

彼女の返事に一瞬言葉を失いましたが、それはうれしいものでした。

「一緒に働いていただきたいと思えます。」それが彼女の返事でした。

1か月ほどたって、その仕事をもらえた理由が分かりました。秘書の女性の説明によると、面接官は末日聖徒イエス・キリスト教会の専任宣教師のアパートの隣に住んでいて、毎朝元気よく自転車に乗って仕事に出かける宣教師の姿を、何度も目にしていたということでした。

「同じ教会に属しているあなたなら、教会のために一生懸命働くあの宣教師と同じくらい会社のためによく働いてくれるに違いないと思ったそうよ。」



面接官からこう尋ねられました。
「日曜日に教会へ行くか、仕事をするか
決めなければならないとしたら、
どちらを選びますか。」

彼女はそう言いました。「運のいい人ね!」

その日以来、わたしたち家族はいつも必要なものを与えられてきました。

あの特別な経験について考える度に、わたしは勇気づけられ、慰められます。神は御自分の子供たちを祝福するために、周りの人を使われるということをわたしは知っています。あの新聞の切り抜きを持って来てくれた妻と友人、あのすばらしい模範を示してくれた勤勉な宣教師、そして憐れみと愛、思いやりにあふれ、わたしたちの益となるようにわたしたちの経験を聖別する不思議な力を持っておられる天の御父に、どれほど感謝しているか言葉でうまく表現することができません。■

石井健也(日本)

不道徳な世界 における純潔

現在わたしたちは、純潔を尊ばない、あるいは嘲笑^{ちやうしやう}さえする世界で暮らしています。教会機関誌は、全世界の様々な国からやって来たヤングアダルトと会合を持ち、そのような世界で純潔を保つときに、どのような試練と祝福を受けるかについて話し合いました。わたしたちは彼らの率直かつ正直な、また心のこもった話から励ましと靈感を受けました。皆さんも彼らのコメントから、結婚と肉体的な親密さが持つ神聖さを尊ぶのに役立つ何かを見いだせるのではないかと思います。

実に大勢の人々が不道徳な行為を正当化する中で、皆さんが性的な清さを保つための助けとなるのはどのような福音の真理でしょうか。

マルティン・イサクセン (ノルウェー)——聖文の中では純潔であるようにと教えられています。わたしにとってはそれで十分です。

リジー・ジェンキンス (アメリカ合衆国、カリフォルニア州)——純潔は約束です。生活の基盤です。生き方なのです。

リズ・ウエスト (イギリス)——わたしは自分が何者なのかを理解し、人生とは目の前の限られた瞬間に起こる出来事を越えたものであるということを理解しています。このことはわたしたちにとって大きな助けとなっています。10代のころはきちんと説明することができませんでした。救いの計画は大きな助けとなります。永遠の結婚はすばらしい概念です！この約束を理解した人は、安全だけでなく幸福も得られるように、神がわたしたちをこの地上に送り、家族を与えてくださったこと、またわたしたちに戒めをお与えになったことがどれほどすばらしいことなのか気づくはず

です。これらの原則を生活の基盤とし、「わたしは飲まない」、「わたしはそのようなパーティーには行かない」、あるいは「わたしはそのようなことはしない」と言うことによって、自分の生活の基盤を友人と分かち合うとき、友人はわたしに敬意を払ってくれます。そして最終的にはわたしを支持してくれます。自分が神の子供として価値ある存在であること、また天の御父がわたしを御存じで、文字どおりわたしに関心を持っておられることを理解するときに、力がみなぎってきます。

アンナ (アニャ)・ウラソバ (ロシア)——自分が天の家族の一員であることに思いをはせることは大きな助けとなります。わたしは神を愛し尊敬しています。ですから、神に恥ずかしいと思われるような選択はしたくないのです。

ケイリー・ホイットモア (アメリカ合衆国、フロリダ州)——わたしは、家族の神聖さを理解することによって、純潔の律法に従った生活を送ろうという強い決意を持つようになりました。戒めを破ったときの好ましくない結果を経験したくないというのが理由の一つです。

ファランデ (フェイ)・トーマス (ハイチ)——「その気になれば、今、すべてのものを手に入れることができるのに、どうして我慢するの？」と周囲の人々が言うことについてよく考えました。しかし、わたしはそのような種類の幸福がいつまで続くか疑問に感じます。それよりも、純潔の律法に従った生活を送り、平安を感じたいと思います。

ヒッポライト (ヒップ)・コウアディオ (コートジボワール)——わたしにとってとても役に立っているものの一つは「家族——世界への宣言」の中の次の一節です。「わたしたちは宣言します。生殖の神聖な力は、法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。」¹

もう一つ役に立っているものは、純潔についての中央幹部の言葉です。彼らは不道徳な行為がどのようにして始まるのか警告し、肉体を汚すことは霊を汚すことであると教えています。救い主はわたしたちがいつの日か復活体にあずかることができるように犠牲を払ってくださったとジェフリー・R・ホランド長老は教えています。わたしたちは自分たちの肉体を清く保つことで、その犠牲に感謝することができます。²

リズ——15歳のころ、ある人ととても具体的な話をした記憶があります。結婚前の親密な関係にわたしがどうして賛成しないのかという内容でした。彼女がこう言ったのを覚えています。「ええ、でも、もしそういうことが起こってしまったらどうするの？ある夜のことで

あなたに……なんてことが起こってしまったら？」でも、わたしは選ぶ自由があるということを知っていました。そういうことが「起こってしまう」ということは決してないのです。

天の御父がわたしたちを解放するために選択の自由と戒めを与えられたのは、あり得ないほどすばらしいことだと思えます。一方、サタンがあらゆる方法を使ってわたしたちを束縛したり拘束したりするのは、あり得ないほど恐ろしいことだと思えます。友人が話していた何かが「起こる」かもしれない時というのは、パーティーでお酒を飲み、二人きりになった時のことです。ですから、わたしは自分をそのような状況に置くようなことはしません。切羽詰まって「はい」か「いいえ」で答える段階になって選択をするべきではありません。もっと前の段階で、「このパーティーに出席するかどうか」と自問するときに選択すべきなのです。

物事を事前によく考えず、結果について考慮することがなければ、多くの人はその時々自分の望むままに行動するようになります。しかし、「わたしはこのような結果を望むので、このような選択をします」と言えば、多くの問題を避けることができるのです。

皆さんは選択の自由と戒めについて話しました。ところで、標準に従って生活するうえで、聖約、例えば、バプテスマの聖約、あるいは神殿の聖約は助けとなりますか。

フェイ——バプテスマを受ける前の自分の生活を考えると、聖約を交わした今、自分が人生の目的をどれだけ深く理解できるようになったかに気づきます。わたしたちが贖いあがなを通して赦しゆるを得られる過程には驚くべきものがあります。自分が交わした聖約について思い起こすとき、どうすれば悔

い改め、向上し、前進し続けることができるかということについて考えます。

アニャ——特に、神殿では永遠の観点から物事を見ることができます。神殿はわたしたちが今日こんにちのことだけでなく永遠について考えることができるように助けてくれます。そして、より賢明な選択ができるようになるのです。

リジー——肉体的な親密さは悪いと思ひ込むことがよくありますが、そうではありません。必ずふさわしい権能によって承認されなければなりません。ふさわしいときに、ふさわしい相手と行う場合は善しとされるのです。それが聖約を交わすということ。聖約とは、約束することです。聖約とは、「わたしは人生のこの段階に進む準備が確かにできています」と言うことです。わたしにとって聖約は助けとなります。なぜなら、わたしが御父の望んでおられる秩序に従って物事を行っていることが分かるからです。また、天の御父が望んでおられることを自分が行うならば、それだけ幸福になれるということをわたしは知っています。

ジョナサン・トマシニ（フランス）——自分自身と神に忠実でありたいと願うならば、聖約を守らなければなりません。結婚の聖約によって、わたしは自制心を持ち、良い夫となるために自らを備え、清さを保った男性として、自分の妻を迎えたいと思うようになりました。

世界中で純潔の律法はなぜ時代遅れなのかという点について、数多くの論争が起こっています。その多くは複雑で説得力があるかのように見えます。これまでにあなたはどのような論争を耳にしてきましたか。また、あなたの標準を揺るがす人々にどう対処してきましたか。

リジー——高校3年のとき、ある教師がわたしたちに幾つかの「助言」

「救い主は
わたしたちがいつの日か
復活体にあずかることが
できるように
犠牲を払ってくださいました。
わたしたちは
自分たちの肉体を
清く保つことで、
その犠牲に感謝することが
できます。」



標準と鍵

「結婚前の節制と結婚後の完全な貞節に関する標準は変わりません。世の中の標準からどれほど懸れ離れても、嘲笑されても、多くの人が誘惑に負けても、わたしたちは屈しません。誘惑には負けないのです。……

皆さんは聖霊の賜物を授けられています。決断を下すとき、皆さんは細い声を通して承認や警告を受けることでしょう。聖霊は皆さんが悪から離れるよう導き、道に迷ってさまようときに連れ戻してくださいます。自分が神の息子、娘であることを決して忘れてはいけません。サタンは皆さんを永久にとりこにしておくことはできません。皆さんは、牢獄の扉を開く悔い改めの鍵を常に持っているからです。」

十二使徒定員会会長
ボイド・K・バックナー会長
「真理の標準は確立された」
『リアホナ』2003年11月号、25 - 26

をしたのを覚えています。彼女は高校を卒業してすぐに結婚しましたが、その結婚は悲惨な結果に終わりました。そこで彼女は次のような内容のことを口にしたのです。「海にはたくさんの魚がいる。」つまり、わたしたちはいろんなことを試すことができる、いろんな人とつきあうことができるというのです。わたしはその教師の言葉にショックを受けたのを覚えています。その時以来、わたしはこう考えています。確かにたくさんの人がいるけれど、わたしにはたくさんの人なんて必要ありません！

ジョナサン——わたしの知っている人が、恋人同士であるのなら、相手の男性と性的に一致するかどうかを確かめたい、と言いました。彼女は、好きな男性とデートをして親密な関係になり、性的に一致しないと感じて別れたという経験を例に出しました。彼女はその経験を根拠に自分の考えを擁護しました。それはかなり説得力のある意見に思えました。最終的には、ほんとうの意味でお互いをよく知り合う方法はほかにも必ずあると思うし、そのような方法で、純潔の律法に従って生活し信頼関係を築くならば、結婚するときにはより大きな一致が得られるはずだ、とわたしは彼女に告げました。

アニャ——わたしがいつも耳にする最も一般的な考えは、二人が愛し合っているならばかまわない、肉体的な親密さは一つの愛情表現だということです。

マルティン——「わたしたちは愛し合っているから」という言い訳を聞くときに頭に思い浮かぶのは、スペンサー・W・キンボール大管長の言葉です。キンボール大管長は、人々が自分たちは互いに愛し合っていると言うときに、情欲がドアから忍び込んで来るということが実によくあると語ってい

ます。³それは結婚前に親密な関係になる多くの人の場合に当てはまります。そのような人たちが互いに示し合っていると思っているのは愛ではなく情欲なのです。ほんとうに愛し合っているならば、互いにもっと尊重し合い、支え合い、肉体的な親密さを示すにふさわしい時があることを理解するはずです。また、結婚前の親密な関係は、自分たちが思っているほどにはお互いを支え合おうとしていないことを示すものだとわたしは思います。なぜなら、今、自分の標準に従って生活するよう助け合えないとしたら、どうして後になって互いに支え合うことができるでしょうか。

ケイリー——神の存在を信じない人の中には、聖書と純潔の律法は時代遅れだと感じている人がいます。高校の友人の中にも、基本的には無神論者あるいは不可知論者の人がいます。一人の友人などは自分が所属している宗教の教えを実際は信じていませんでした。その友人は、ただ自分の望みと、自分が正しいと感じることによって生活していました。彼女の考え方からすれば、肉体的な親密さは自分の望みを満足させるためのものであり、その満足を制限するものは何であれ望ましくないということになるのです。

わたしが聖書と神の戒めを信じているということにその友人は驚いたと思いますが、わたしは戒めを制限だとは思っていないこと、戒めに従った生活をするのは、戒めが自分をよりいっそう幸せにしてくれるからだということを、彼女に理解してもらおうと努めました。同じ考えを共有することはできませんでしたが、彼女はわたしに敬意を払い、その後もすばらしい友人であり続けました。

リズ——こうした論議のすべての答えは基本的な福音の原則の中に見

い出すことができます。神がおられること、より偉大な計画があること、報告の義務があること、わたしを愛し、わたしに関心を持っている方がおられること、自分は神の子供なのだから自分には本来価値があるということ、こうしたことを信じるときに、自分は価値ある存在であると考えようになり、自分の体を尊ぶようになるでしょう。こうした原則を知らない人や、信じない人は、自分の価値をほかの人や場所に見いだそうとするようになるのです。

どのような影響、あるいは模範が純潔の律法に従って生活する決意をするのに役立ちましたか。

ヒップ——婚約している友人がいました。ある日のこと、間近に迫った彼の結婚について話していると、こう尋ねる人がいました。「忠実であり続けるために、どんな決意が君たち二人にとって助けになると思う？」彼は次のように答えました。「純潔の律法を守らなかったら、ぼくたちの関係は

「わたしは戒めを制限だとは思っていません。戒めに従った生活をするのは、戒めが自分をよりいっそう幸せにしてくれるからです。」

壊れるかもしれない。だからぼくたちはビショップや両親の前で気まずいと感じるようなことは一切しないと決心したんだ。」彼の答えは今でもわたしに影響を与え続けています。

ジョナサン——ヤングアダルトになった今、わたしは預言者の言葉に耳を傾け、教会指導者の言葉について深く考えられるようになりました。けれどもこうなるまでには、多くの責任が両親や家族に課せられていると思います。教会は情報やたくさん大切な事柄を提供してくれますが、福音が良いものであり、自分を幸福にしてくれるものだということを知るうえで、家族の模範は大きな助けとなります。

リズ——わたしが育ってきた過程で、自分と年代の教会員は、最も近い所ですら、我が家から1時間半も離れた所に住んでいました。ですから、学校に自分以外の教会員はいませんでした。しかし、ほんとうにありがたかったのは、たった一人のわたしのために、指導者がいつもミューチャルに来てくれたことです。彼らは欠かさずセミナーに来て、レッスンを教えてくれました。「生徒がたった一人しかいないので、今日は休講にします」と言ったことはただの一度もありませんでした。たくさんのことを学んだはずですが、いちばん記憶に残っているのは、指導者が一貫していたということです。彼らのおかげで、わたしは御霊を感じる機会にあずかったのです。

わたしたちは聖霊の賜物の価値を完全に理解することはとうていできないと思います。両親や指導者はいましたが、学校では独りでした。しかし、御霊はわたしと一緒にいてくださいました。生活の中で御霊とともにいる助けになることならどんなことでも、純潔の律法を守るうえでの大きな力となるのです。

リジー——わたしに最も大きな影響を与えたのは、自分自身が得た証です。福音に深く根を下ろしていなければ、ごく簡単に別の道を選んでしまいます。まずは自分が福音の堅固な土台に基づいていることを確認することです。そうすれば、ほかのものはみな後からついてくるものです。

ヒップ——肉体的に強くなりたければ、肉体を訓練します。そして訓練をすれば成果が表れます。同じ方法を霊的に応用するとすれば、わたしたちは霊的に訓練をしなければなりません。霊的な訓練のためにわたしたちがしなければならないことは、たくさんあります。例えば、聖文を読みまじし、御霊を受けるためにできることは何でもします。また義にかなった目標を立て、そのような目標に向かって努力しなければなりません。しかし、自分だけの力で目標に到達することはできません。主にとともにいていただく必要があります。わたしたちは主から力と御霊を頂くことで、試練を乗り越えることができるのです。そうすればわたしたちはトーマス・S・モンソン大管長の次の呼びかけにこたえることができます。

「激情に流されて夢を失ってはなりません。誘惑に耐えてください。

モルモン書にある次の言葉を思い起こしてください。『悪事は決して幸福を生じたことがない。』⁴ ■

注

1. 「家族——世界への宣言」[リアホナ] 2010年11月号, 129
2. ジェフリー・R・ホランド, "Of Souls, Symbols, and Sacraments," *Brigham Young University 1987-88 Devotional and Fireside Speeches* (1988年), 77-79 参照
3. 「罪を犯しているとき、純粋な愛は一方の扉から押し出されてしまいます。するともう一方の扉から情欲が忍び込んできます。そして愛情は肉欲や制し切れない激情に取って代わるのです。『容認』とは、婚外の性的関係を正当化するために、悪魔が躍起となって確立しようとしている教義です。』(Teachings of Spencer W. Kimball, エドワード・L・キンボール編 [1982年], 279)
4. トーマス・S・モンソン大管長「模範になりなさい」[リアホナ] 2005年5月号, 113

「神の神権を尊ぶとはどのような意味でしょうか。」

神

権は、天の御父とイエス・キリストが御業を行うときに用いられる力です。神権は地上における最も偉大な力です。神権により、儀式が執行され、祝福が授けられ、神殿の業が成し遂げられ、福音が宣べ伝えられ、そして奇跡が行われるのです。

神権者は救い主を代表するので、救い主が地上にいたら行われるであろうことを行うことにより神権を尊びます。また、神権にふさわしく生活することにより神権を尊びます。服装や行い、言葉、奉仕、さらには思いにより神権を尊ぶのです。

若い女性もまた、バプテスマの聖約を守ることにより、また聖餐式や神殿の儀式などの神権の儀式に敬虔に参加することにより神権を尊ぶことができます。父親や兄弟、ほかの神権者が戒めを守り、ふさわしく生活して神権の務めを果たせるよう助けることができます。

わたしたちは皆、自分の召しを忠実に果たし、神権者を敬い、神権により成し遂げられる業を尊び、神権のおかげで受けられる儀式や聖約を敬うことにより、神権を尊ぶことができます。

神を代表して行動する



神がこの賜物^{たまもの}を授けてくださったことがどんなにすばらしいことかを理解できるようになると、神権を尊ぶことは容易になります。自分にゆだねられたこの力に対する感謝と敬意を込めて行動するのは、「わたしが神の力を持っていると知ったら、周りのみんなは神をさらに尊ぶだろうか。それとも取るに足りない御方だと思うだろうか」と自問してみてください。それこそ、神権を尊ぶということです。つまり、自分が神を代表していることに気づき、自分に置かれている神の信頼に対して敬意を示す行いができるよう全力を尽くすことこそ、神権を尊ぶことなのです。

メーソン・R, 19歳 (アメリカ合衆国, コロラド州)

徳高くある



わたしは若い女性なので、神権を尊ぶ必要はないとも言えるかもしれませんが、すべての若い女性は神権を尊ぶ必要があります。若い女性は徳高くあることにより神権を尊びます。若い男性が清い思いを抱けるよう助けることにより神権を尊びます。慎み深い服装を身に着け適切な言葉遣いをします。こうすることにより、わたしたち若い女性は若い男性が神権を尊べるよう助け、そのことにより自分たちも神権を尊びます。

マリサ・B, 14歳 (アメリカ合衆国, アリゾナ州)

神への務めを果たす

わたしの考えでは、神権を尊ぶ一番の方法は主御自身がこの地上にいたらされるであろうことを行うことだと思います。なぜならわたしたちはイエス・キリストを代表しているからです。つまり、すべての約束や義務、神権に聖任されたときに神と交わした聖約を守るといことです。主の神権を尊ぶことによりわたしたちは「立って光を放ちなさい。それは、あなたがたの光がもろもろの国民のための旗となるためであ[る]」という主の命令に従うことができます(教義と聖約 115:5)。わたしたちは、権能を授けられた神の僕が地上に大勢いることを人々に知らせます。

ビスマルク・B, 18歳 (ドミニカ共和国, サントドミンゴ)

神権に対する敬意を示す

神権を尊ぶとは、神権を用いることに対し敬意と信頼を寄せることだと思います。わたしのワードのアロン神権者のように神権と聖餐に

敬意を払うならば、聖餐を準備し配る際にすばらしい経験ができるでしょう。わたしたちは皆、白いワイシャツとネクタイを身に着けます。このことはワードに大きな影響を与えますし、わたし自身も影響を受けてきました。神権を持つことは、これまでに経験したどのような出来事よりもすばらしいことです。

ハンセン・B, 15歳
(アメリカ合衆国, テキサス州)

救い主を覚える



神権は、天の御父のもとへ戻る道を示してくれる地上でただ一つのまことの神の力です。神権を敬うことについて考えると、トーマス・S・モンソン大管長やほかの使徒たちの教えに従うことを思い出します。神権を敬う最良の方法は、教えられたことを行うことにより救い主を覚えておくことです。救い主を覚えているときに、主の御霊がともにいてくださいます。御霊がともにいてくださると、わたしたちは目標に向かって進み、福音の標準の模範となることができます。

日曜学校のクラス—カイリー・E, ジェイトン・B, ジョセフ・E, アレクサンドラ・R, ケイリー・V, アリーシャ・F, ヘイリー・W (写真にはいない) (アメリカ合衆国, アイダホ州)

神権を大切に

神権を尊ぶとは、若い男性が主から授かった賜物を敬い支持することだ

とわたしは思います。若い男性が神権を尊んでいるのを見ると、わたしはさらに平安を感じその若い男性をもっと尊敬するようになります。天の御父は若い男性に神権をゆだねられたのですから、若い男性は神権を保持するだけでなくそれを大切にすることにも責任を負っていると思います。

メリンダ・B, 16歳
(アメリカ合衆国, ワシントン州)

標準を下げない

神権を尊ぶとは、自分の標準を下げなければならないような状況に身を置かないことを意味しています。セミナーで旧約聖書を学んだとき、言い寄るポテパルの妻から逃れることにより神権を尊んだエジプトのヨセフの模範を創世記 39 章から学びました。

神権者が神権を尊ぶよう若い女性が助けられる一つの方法は、『若人の強さのために』の標準に従って慎み

深い服装をすることです。

ジョセフ・B, 16歳
(アメリカ合衆国, テキサス州)



神権の神聖さ

「〔若い男女〕は……〔神権〕を尊び、これが神聖なものであることの認識を持たなければなりません。……なぜならば、世界中で

またあらゆる神聖な場所で、この権能により福音の儀式が執行されているからです。神権なしにそれらを執行することはできません。そしてその権能を持つ人たちは神権を自分自身の内で尊ばなければなりません。彼らは自分に授けられている権能にふさわしく、また与えられている賜物にふさわしく生活しなければなりません。」

ジョセフ・F・スミス大管長 (1838 - 1918 年)
『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』143

次回の質問

「教会の標準に従って生活していない
教会員がいるのはなぜかと
会員でない人に尋ねられたら、
何と答えたらよいでしょうか。」

あなたの意見を聞かせてください。2012年11月15日必着で liahona.lds.org に投稿するか、liahona@ldschurch.org まで電子メールをお送りください。下記へ郵送して下さっても構いません。

Liahona, Questions & Answers 11/12
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現のために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず含めてください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載に対する同意文 (18歳未満の場合は保護者が書いた同意文も必要です [電子メール可])。

知識と知恵 と友情を 深める





十二使徒定員会
ロバート・D・
ヘイルズ長老

若いうちに学び、
知識と知恵を得てください。
そして周りの人を高め、
強めてください。

良い人生を送りたいとほんとうに願うならば、聖典に記されている次の勧告に従いたいと望むことでしょう。「若いうちに知恵を得なさい。まことに、神の戒めを守ることを若いうちに習慣としなさい。」(アルマ 37:35) 学びの過程は次のようにまとめることができます。

だれもが、基本となる知性から出発します。教室で学ぶ知識や読書を通して学ぶ知識を追加していきます。人生の経験も追加します。そこで4番目の段階、つまり知恵に到達します。この世の学習の過程はここで止まってしまうのですが、わたしたちはこの世にないものを持っています。バプテスマと確認の儀式により、わたしたちは聖霊の賜物を授かります。律法と儀式、バプテスマのときに引き受けた聖約への忠実さ、また聖餐会で定期的にしばしば交わす約束、

神権や神殿の聖約に対する忠実さに基づいて、わたしたちは聖霊の賜物を常に持ち、教えと導きを受けることができます。御霊は行動するようわたしたちを導きます。わたしたちは皆、霊的な賜物と才能を持っています(教義と聖約 46章参照)。

知恵に霊的な賜物が加わると、心で理解できるようになります。「知恵の初めはこれである、知恵を得よ、あなたが何をを得るにしても、悟りを得よ。」(箴言 4:7) 若いうちに知恵と理解を培うことは重要です。

若いころの経験から、わたしは知恵についてあることを学びました。都會育ちのわたしはユタ州西部にある叔父の牧場で働くよう父に言われました。そこにいる間、わたしは何千エーカーという広大な敷地があるのに、牛がなぜフェンスの向こう側の草を食もうと有刺鉄線に頭を突っ込むのか理解できませんでした。わたしたちもそれに似ているのではないのでしょうか。わたしたちは、特に若いうちは、自分の限界を知ろうと常に無理をします。人間、つまり生まれながらの人であるわたしたちは、わざわざ有刺鉄線の所まで行って頭を突っ

込もうとします。なぜそうするのでしょうか。

わたしたちは、限界を押し広げなくても生活の中でたくさんの喜びを見いだすことができます。忘れないでください。「知恵の初めはこれであ[り]」、その知恵により「よこしまな者の道に、はいつてはならない、悪しき者の道を歩んではならない。それを避けよ、通ってはならない、それを離れて進め。」(箴言 4:14-15) 悪しき道に近づかないでください。有刺鉄線のフェンスに頭を突っ込まないでください。

良い友人がいますか

箴言には、知恵に関するこれらの教えとともに、良い友人を選ぶことについても教えられていることに気づくでしょう。「よこしまな者の道に、はいつてはならない、悪しき者の道を歩んではならない。」(箴言 4:14) 「わが子よ、彼らの仲間になってはならない、あなたの足をとどめて、彼らの道に行ってはならない。彼らの足は悪に走[る]からだ。」(箴言 1:15-16)

自分に良い友人がいるかどうかはどのように分かるのでしょうか。二つの

判断基準を示しましょう。この判断基準を使えば、おかしな道に踏み込んでしまったり、「永遠の命に至る細くて狭い道」からそれたりすることは決してないでしょう（2ニーファイ31：18）。

1. 良い友人とは、一緒にいると戒めに従って生活するのがより容易になる人です。 真の友人はあなたを強め、最後まで堪え忍べるように福音の原則に従って生活できるよう手助けしてくれます。

2. 真の友人は、その人の方法と主の方法のどちらかを選ぶようあなたに強いることはありません。 そのためあなたを細くて狭い道からそらすこともありません。敵対する者はこの地上を巡りながらわたしたちが皆墮落することを熱望しています。友人があなたを悪の道に連れて行こうとしたら、今すぐその人たちから離れてください。賢く友人を選んでください。

あなたはどんな友人でしょうか

さて、難しい質問をしましょう。あなたはどのような友人ですか。

人生は自分を救うためだけにあるものではありません。わたしたちは周りの人すべてを高め、強める務めを任されています。主は、すべての人がともにみもとに戻ることを望んでおられます。

あなたは灯台です。壊れた灯台ほど危険なものはありません。自分が何者であるかを忘れないでください。あなたは世の光であり、友人や兄弟、姉妹の光なのです。彼らはあなたを頼みにしています。

箴言の4章には続きがあります。



*世の光となり、義の道にあつて
周りの人々を導き、案内してください。
彼らはあなたを信頼できる灯台として
頼みにしています。*

「正しい者の道は、夜明けの光のようだ、いよいよ輝きを増して真昼となる。

悪しき人の道は暗やみのようだ、彼らは何につまづくかを知らない。」（18 - 19 節）

人々は、なぜ自分がつまづいているのかをまったく知りません。彼らには光も導きもないのです。

光のない灯台に頼るとはどのようなことか分かりますか。暗闇が生じ、道に迷います。

パイロットは電力を失うと、電気

以外で動く計器しか頼るものがなくなってしまう。もしそのパイロットが高度1万2,200メートルの雲の中で一人乗りの戦闘機に乗っていたならば、非常に心細く感じるでしょう。頼れるものが何もないのです。わたしはこのような経験をしたことがあるので、今ここにいられることをうれしく思います。この経験は生涯忘れられないと思います。皆さんもいつかそのような状況に陥るかもしれません。壊れた灯台ほど危険なものはありません。灯火を頼りにしているときには特にそうです。

あなたの光の導きに頼っている人はいますか。良い模範になりましょう。世の光となり、義の道にあつて周りの人々を導き、案内しましょう。彼らはあなたを信頼できる灯台として頼みにしているのです。だれかに必要とされたら力になりましょう。

御霊は人に喜びと幸せをもたらし、人を導く光です。自分の行いのために御霊を失うことが決してありませんように。この「暗くて寂しい」世の中でたった独りで悲しむことが決してないよう心から祈ります（1ニーファイ8：4）。

あなたが若いうちに学び、知識と知恵を得ようと努力するときに主の祝福がともにありますように。また、従順により、また御霊の光すなわち聖霊により、福音の真実に関する知恵と理解を心に得ることができるようになります。良い友人となりましょう。周りの人々を高め、強めましょう。自分があるこの世をより良い場所にしましょう。友達が細くて狭い道にとどまれるよう助け、最後まで堪え忍び、名誉の帰還を果たしましょう。■

ダンスの服装

クリスタル・マーティン

みんなに同調する誘惑に駆られましたが、模範となる必要があると気づきました。

10代のころ、わたしは福音に従って生活することを時折難しく感じていました。わたしが住んでいた地域には教会員はあまりいませんでしたし、教会員ではない友人のために正しい道にとどまるのがさらに難しくなることがありました。

「これを着なさいよ。あなたの目の色が映えるわ。」ある友人がダンスの前にこう言いました。友人はわたしに貸してくれるというドレスを掲げました。でも、そのドレスには袖がありませんでした。わたしはそのドレスの上にジャケットを羽織ることにしました。

ダンス会場に着くと、袖のあるドレスを着ている人は一人もいなかったため、自分が浮いているように感じました。暑くなり始めると、友人は「見栄えも

よくなるからジャケットは脱いでしまいなさいよ」と言いました。

ジャケットを脱ぐことを正当化しようとしたそのとき、わたしは自分の祝福師の祝福を思い出しました。祝福文には、わたしが多くの誘惑に遭うこと、そしてもし誘惑に落ちるならば多くの人がわたしに従うということが書いてありました。そのとき、わたしは自分のためだけでなく、わたしを尊敬してくれている人たちのためにも、正しい道に踏みとどまらなければならないことに気づきました。わたしはジャケットを脱がないことにしたのです。

わたしはほかの人がしていることをしないことで時折からかわれましたが、揺らぐことがなかったため祝福を受けました。後に、多くの人が尊敬してくれていたことを知りました。自分

の標準に従っていることでわたしを尊敬していると話してくれた友人さえいました。友人たちは、高校のみんながしていることをしないことでわたしにつらく当たったことを謝ってくれました。

教会の標準に従い模範となろうと努力したおかげで、わたしは宣教師となって人々に福音を教えることができました。もし正しい道にとどまらなかったならば、ほかの人を感化することはできなかったでしょう。■



服装の標準

「決して服装の標準を下げないでください。特別な日だからといって、慎みがないことの言い訳にしないでください。……若い女性は……肩が覆われていない服……は避けるべきです。」

「若人の強さのために」(小冊子, 2011年) 6-7

服装と外見

「御霊の導きに従って」



中央若い女性会長会
第一顧問
メアリー・N・クック

キリストを代表するわたしたちは、
「いつでも、どのようなことについても、
どのような所においても」
特定の標準に従うことにより
自分たちの肉体に敬意を示します。

キムは常に慎み深い服装を身に着けています。ある日、わたしはキムに、慎み深いスカートや慎み深いブラウス、慎み深い水着とはどのようなものかと思うか尋ねてみました。わたしたちは具体的な裾の長さや襟ぐりの深さではなく、慎み深さを取り巻く原則と見栄えのする慎み深い服を見つけることの難しさについて語りました。創造的にスカートの丈を長くする方法について自由に意見を出し合って楽しみました。最後にキムはこう言いました。「最初に身に着けたときに着心地がよくなければ、たいていそれは慎みのない服だというしるしなので、着ていてもいい気持ちがしないはずです。ですから、そのような服は買わないことにしました。そういう服は棚に戻します。」

キムがふさわしく生活しようと努力すると、聖霊はキムが服を選ぶときに導いてくださいます。キムは慎み深さの標準に進んで従い、服装と外見に関する約束事を変えようとはしません。キムは自分の肉体が神殿であり（1コリント3：16 参照）、肉体を大切に扱い、守り、適切に装う責任が自分にあることを

理解しています。

神殿を建てる時には、神殿を守り、外側も内側も美しく装飾するために多大な手間をかけます。神殿を設計する際の鍵は、神殿が主を表すものであり、主の宮であると理解することです。わたしたちは、ふさわしい人しか入ることができない神聖な建物として神殿を尊びます。わたしたちは神殿に敬虔な気持ちを抱きます。神殿で受ける神聖な儀式と聖約により天の御父のもとに戻ることができるからです。

皆さんの肉体は、地上で最も美しい神殿よりも貴いものです。皆さんは神に愛される息子、娘なのです。主を代表すること、敬意、敬虔の原則は、肉体に注意を払い肉体を守ることに於いて、さらに実践する必要があります。

主を代表する

毎週聖餐を取るときに、わたしたちは救い主の名を受けます。わたしたちは地上における主の代表者です。『若人の強さのために』には次のような指針が記されています。「あなたは、自分の体がどれほど尊いか知っていることを、服装と外見を通して主に示すことができます。あなたは自分がイエス・キリストの弟子であり、主を愛していることを示すことができるのです。」¹

ある若い女性は、この文を読んで慎み深さの境界線に近づくこともしたくないと思いました。

すぐに、救い主の代表者にそぐわない服をすべてたんすから出しました。彼女はこう言いました。「着るべきではないと思う服は店で試着もしない方が賢明でしょう。わざわざ誘惑を受ける必要があるでしょうか。」主を代表するという原則のおかげで、彼女はこの固い決意をすることができたのです。

敬意

キリストの代表者であるわたしたちは、特定の標準に従うことに同意することにより「いつでも、どのようなことについても、どのような所にいても」自分たちの肉体に敬意を示すことができます（モーサヤ 18:9）。主は、清い人のみに神殿に参入することを許しておられます。徳高くあるというあなたの選択は、主と自分の肉体に対する敬意を表す証拠です。

わたしたちはまた、他人の肉体にも敬意を払い、彼らが徳高い生活を送れるよう助けるべきです。十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老はこのように言っています。「ぴったりしすぎた服、短すぎる服、胸もとが開きすぎたり、股上が浅すぎたりする服を着ると、日常をともに過ごす若い男性に誤ったメッセージを伝えるだけでなく、女性の価値は性的な魅力でしか決まらないという誤った考えを自身の中に深く根付かせるということを、〔若い女性〕は理解する必要があります。そのような誤った考え方が、神の忠実な娘を表す義の定義に含まれることは、過去にも未来にも絶対にありません。」²

若い女性の皆さん、自分の肉体を尊び、ほかの人、とりわけ若い男性が徳高い思いと行動を維持できるよう助けてください。日々の義にかなった生活により永遠の価値がもたらされることを念頭に置いて肉体を尊んでください。

敬虔さ

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ

長老はこのように教えています。「神殿の庭が神殿内で執り行われる儀式の神聖さと敬虔さを表現しているのと同じように、わたしたちの服装は内なる美しさと清さを表しています。どのような服装をするかは、……儀式と永遠の聖約に正しく敬意を払っているか、また儀式を受け、聖約を交わす備えができていないかを映し出しているのです。」³

「日曜日の晴れ着」を着て聖餐の儀式に臨むことにより、救い主の贖いの犠牲^{あがな}に対して抱いている敬虔さを示しましょう。「聖餐の儀式を執行するときに若い男性は威厳のある服装をするべきです。」⁴ 若い女性の皆さん、慎み深い服装をしましょう。

立ち上がってください。家庭や学校、海辺、ダンス会場で、またスポーツをする際に慎み深い服装の模範を示しましょう。衣服を選ぶときにはキムの模範に従い、聖なる御霊の導きに従って決定しましょう。「次のように自問してください。『主の前に出てもおかしくない外見だろうか。』」⁵

主を代表すること、敬意、敬虔の3原則に従って衣服を選ぶならば、救い主に愛される代表者として「光を放つ」ことができます（教義と聖約 115:5）。■

注

- 1.『若人の強さのために』（小冊子、2011年）6
2. M・ラッセル・バラード「母と娘」『リアホナ』2010年5月号、20
3. ロバート・D・ヘイルズ「慎み深さ——主への敬意」『リアホナ』2008年8月号、20
- 4.『若人の強さのために』8
- 5.『若人の強さのために』8



御言葉により 強められる

10代の若者たちが、聖文から
教えや慰め、導きを受けた
経験について語っています。



聖文は必要なときに 助けてくれる

「聖典は、わたしたちの心を照らし、高い所から導きと靈感を受ける備えをさせる光の小包みのようなものです。……聖文を暗記することで、大きな力が得られます。聖文を暗記することは、新しい友情を築くことです。それはまるで、必要なときに助けてくれる人、靈感と慰めを与えてくれる人、必要な変化を遂げる動機を与えてくれる新しい人に出会うのに似ています。」

十二使徒定員会
リチャード・G・スコット長老
「聖文の力」
『リアホナ』2011年11月号, 6

2011年10月の総大会で、
十二使徒定員会の
リチャード・G・スコット
長老は聖文を暗記すること
について話しました(左の欄を参照)。
暗記した聖句が役立った経験に
ついて青少年に尋ねてみました。
以下はその回答の一部です。



心に平安があるように

「息子よ、あなたの心に平安があるように。あなたの逆境とあなたの苦難は、つかの間にすぎない。」(教義と聖約 121:7)

長年わたしを最も慰めてくれている聖句は、教義と聖約 121章7節です。これは、預言者ジョセフ・スミスがリバティーの監獄で天の御父に助けを叫び求めたときの聖句です。セミナーで暗記したこの聖句を、慰めを必要とするときに思い出しています。この聖句は、天におられる御父がわたしを愛し、わたしの試練を御存じであることを思い出させてくれます。ストレスや弱さを感じるときにこの節を使って平安を得ています。

あるパーティーがとどまるべきではない場になってしまったときに、この聖句が役立ちました。お酒やたばこを友人に勧められたとき、丁寧に断ることができました。自分の信条を擁護するために必要な力をこの聖句からもらいました。

この聖句は、難しい決断を迫られたときにも役立ちました。わたしには、5年間ずっと切っても切れない仲の友人がいました。スポーツをするときも、旅行に行くときも一緒にでしたし、

週末になるといつも一緒に遊びました。でも、彼女は次第にわたしが一緒にいたくない年上の友達と付き合うようになりまし。とうとう彼女は、彼女の友人でいるか、あるいは知恵の言葉や純潔の律法に関する信条を守り通すか、どちらかを選ぶようわたしに言いました。わたしの心は打ちのめされました。信条を擁護することがこんなに難しいとは知りませんでした。でもわたしは新しい友達を作ることに決め、すべてうまくいくというジョセフ・スミスへの天の御父の約束を常に心に留めるようにしました。

信条を曲げるほど価値のあることなどありませんし、わたしは正義を選ぶ度に永続する真の喜びを経験しています。この聖句はわたしの証^{あかし}を強め、助けが必要ときに役立ってきました。

ローレン・J

16歳(アメリカ合衆国、アーカンソー州)



弱さは強さに変わる

高校入試の数か月前、わたしは準備ができていないと感じ、試験でうまくいくはずがないと思いました。そこで、祈りを通して天の御父に頼りました。祈っていると、次の言葉が頭に浮かんできました。「もし人がわたしのもとに来るならば、わたしは彼らに各々の弱さを示そう。わたしは人を謙遜^{けんそん}にするために、人に弱さを与える。わたしの前にへりくだるすべての者に対して、わたしの恵みは十分である。もし彼らがわたしの前にへりくだり、わたしを信じるならば、そのとき、わたしは彼らの弱さを強さに変えよう。」(エテル 12:27)

困難や試練に対処する力を求めて天の御父に祈るときに、御父はわたしが自分の弱さを克服できるよう祝福と助けを与えてくださることに気づきました。心配事を主に伝えたことは、最善の決断でした。天の御父こそ最良の教師であり、御父がわたしを助けてくださったことを知っています。

アービン・O

16歳(エルサルバドル)



常に祈る

「勝利者となるために、まことに、サタンに打ち勝つために、またサタンの業を支えるサタンの手下どもの手から逃れるために、常に祈りなさい。」(教義と聖約 10:5)

誘惑に遭うときにこの節が役立ちます。間違いだと分かっていることをしそうになると、この節とその言わんとすることが頭に浮かびます。その促しを受けた後で祈る度に、直面している誘惑を克服するために必要な助けをもらいます。

ジェシー・F

17歳(アメリカ合衆国, ユタ州)

わたしはあなたとともにいる

「苦難の中で忍耐強くありなさい。あなたは多くの苦難を受けるからである。しかし、それに耐えなさい。見よ、わたしはあなたの生涯の最後まで、あなたとともにいるからである。」(教義と聖約 24:8)

この聖句を暗記したことによって、特に恐れや孤独を感じる時に祝福を受けてきました。この聖句を思い出すと、勇気をもらい、気分が晴れました。若い男性と若い女性であるわたしたちは、特に大変な試練や困難に直面するときに導きと助けが必要です。将来が不確かに見えたり見通しが悲観的に思えることが時折ありますが、主を信頼するならば、主の温かい腕に抱かれることを知っています。

幼いころ、わたしが自分の分を果たすならば主は常にそばにいてくださると、家庭や初等協会でお教わりしました。この教えと聖句のおかげで、わたしは常に主を頼ることができると知っています。

ソフィア・I

15歳(ウルグアイ)



目標を作る

聖句を暗記する目標を作ってみましょう。セミナーのマスター聖句や、「神への務め」「成長するわたし」の一環として聖句を暗記するとよいでしょう。

まっすぐで狭い 道

道は幾つもあります。
でも、永遠の命に至る道は一つだけです。
(2ニーファイ9:41;31:17-21;アルマ7:9 参照)



しよとうきょうかい そつぎょう 初等協会を卒業して、

わか だんせい わか じょせい しんきゅう
若い男性や若い女性に進級するとき、
たの けいけん
楽しい経験のいくつかをここにしようかします。

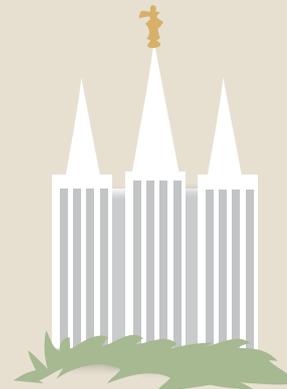
わか だんせい 若い男性とは？

アロン神権
すく ぬし ひとびと つか
救い主のために人々に仕える
せいさん
聖餐のパスをする
だんじきけん あつ
断食献金を集める
かぞく つよ
家族を強める

かみ つと
神への務め
あたら しょうとく じつ
新しいことを修得し、実せんする
ほかの人々と分かち合う
てん ちち ちか
天のおん父ともっと近くなる

『わこうど つよ
若人の強さのために』
じぶん つよ ひょうじゅん
自分を強めるための標準

かつ どう
活動
ていいんかい いちいん ほうし
定員会の一員として奉仕する
ミューチャルの活動を楽しむ！



しんでん い
神殿に行く
ししや う
死者ためのバプテスマを受ける
せいやく か そな
聖約を交わす備えをする
せいれい かん
聖霊を感じる

じぶんじしん そな
自分自身を備える
でんどう そな
伝道の備えをする
けっこん ちちおや
結婚のため、また父親になるための
そな
備えをする

あい しょうとうきょうかい きょうだい 愛する初等協会の兄弟たちへ

拝啓

みなさんは12才になるとアロン神権を受けることができます。これはとても大切なことです。かみさま しんけん う
神様から神権をさずかるといことは、みなさんが神様から信頼されているということです。かみさま しんけん
救い主にならって人々に奉仕することは、みなさんにあたえられた神聖な義務となるでしょう。

いま じゅんび はじ とし みちか しんけんしゃ せいさん しょうふく ようす
今こそ準備を始める時です。身近な神権者が聖餐の祝福やパスをする様子や、バプテスマを
ほどこしたり、祝福をさずけたり、伝道したり、あるいは家族を導く姿勢をよく見て、かれらの
ことば みみ ふくいん ひよ死おん したが せいかつ
言葉によく耳をかたむけてください。福音の標準に従って生活できる
よう常に最善をつくしてください。そうするならば、アロン神権を
う たいせつ ひ そな
受ける大切な日に備えることができます。



けいく
敬具
ちゅうおうわか だんせいかいちやう
中央若い男性会長
デビッド・L・バック

ぜんしん 前進する

わか じよせい 若い女性とは？

あたらし ともだち
新しい友達
ともに学び、楽しむ
たがいに支え合う

かつ どう
活動
ともに仕える
ミューチャルの活動を楽しむ！

イエス・キリストへの信仰を強める

しんり ぎ まも
真理と義を守る
あかし わ かち 合う
証を分かち合う

かみ むすめ じぶん じぶん そな
神の娘として自分自身を備える
指導者になるための備えをする
けっこん ため、また はおや になるための
備えをする

「成長するわたし」

あたらし まな
新しいことを学ぶ
せいちょう むくひょう
成長するための目標

『若人の強さのために』

じぶん つよ ひょうじゆん
自分を強めるための標準

神殿に行く

ししや づ
死者のためのバプテスマを受ける
せいれい かん
聖霊を感じる
せいやく か そな
聖約を交わす備えをする



あい しょとうきょうかい しまい 愛する初等協会の姉妹たちへ

拝啓

みなさんが若い女性の一員になる日をわたしたちはとても楽しみにしています。みなさんは天のおん父の大切なむすめです。若い女性では、いかなるときも、どこにいても、どのようなことについても主の証人としてふるまうことを学びます。真理と義を守り、救い主の光を世にかがやかせることを思い起こせるように、みなさんにはネックレスがおくられます。『成長するわたし』という冊子は、聖文を学び、個人の目標を立て、神殿参入を目指して成長するために役立つものです。これらはすべて、妻、母親、世の中の偉大な指導者になるための備えをするのに役立つでしょう。

けいぐ
敬具

ちゆうおうわか じよせいちゆう
中央若い女性会長
イレイン・S・ダルトン



写真 © フォトグラフィ



こうはい 後輩のあなたへ

メ キシコからこんにちは。あなたの手紙を読んで、もうすぐお誕生日をむかえることを知って、とてもうれしかったです。初等協会を卒業することを少し心配しているようですね。わたしが若い女性に進級したときのことをお話しします。わたしも初等協会を卒業するときは心細かったです。友達ができないのではなにかと心配しました。初等協会ではいちばん年上だったのに、若い女性ではいちばん年下になるのもこわかったです。誕生日の前に面接してくれたビジョッブでも、結局はすべてうまくいきました。誕生日の前にはさすがくて、日曜日には、変化はよいことだと教えてくれました。それでもまだはすかしくて、日曜日に初等協会の部屋にいたら、うれしいことに若い女性の指導者の一人がわたしを見つけて、こう言ってくれたのです。「もしかしたらここにいないんじゃないかと思っただわ。さあ、いらっしやい、若い女性のクラスに行く時間よ。」ディアスしまいが開会行事の中でわたしをかんげいしてくれました。そして『若人の強さのために』と『成長するわたし』と日記帳をプレゼントしてくれたのです。わたしはこの3冊が大好きになりました。部屋の中を見回すと、初等協会から知っている人が何人かいるのに気づきました。初めて会う人たちもわたしにあいさつをしてくれました。すぐにおどおどした気持ちが消えて、心が落ち着きました。

それから、さらによいことが続きました。ミュージカルの活動は特にすばらかったです。福音に従って生きる方法や、家族、友人を助ける方法を教わったからです。それに毎年行われるキャンプはほんとうに楽しいです。わたしは今ローレルなので、「成長するわたし」プログラムをもうすぐ終わらせたいと思っています。「若い女性のメダル」をもらうのがとても楽しみです。これまで天のおん父に近づくためにどれほど成長してきたかが、自分でもよく分かると思うからです。だから何も心配しないでください。つばさを大きく広げて若い女性のところへ飛んで来ててください。決して落胆することはないと約束します。

あい
愛をこめて、
マリベル

人生の新しい季節を 喜んでむかえる

教会機関誌

マリッサ・ウィディソン

みなさんの住んでいる所では、冬が近づくと木々の葉が紅葉しますか。これからしょうかいする4人の仲良しも、そんな季節の移ろいを感じられる所に住んでいます。ノア・B、ディラン・L、パトリック・M、ベン・Mは、カナダの東海岸おきにうかぶプリンスエドワード島に住んでいます。この4人の少年も樹木と同じように、人生の新たな季節に備えているところです。かれらはみな、1年以内に12才になります。つまり初等協会を卒業して若い男性に進級するのです。4人がどのように成長し、前進してきたか、それぞれの話をしょうかいしましょう。

自分らしくする

ノアがこの島に引っこして来たとき、新しい友達、島の生活に慣れるように、助けてくれました。今グループの中でいちばん年上のノアは、少年たちが若い男性の生活に慣れるように助けてい

ます。「自分がみんなに受け入れられて、友達になれるか心配でした。でも、若い男性の活動に参加したことがとても助けになりました。」若い男性に進級したころをふり返りながら、ノアはこのように言っています。ノアの大好きな初等協会の歌は、ヒラマンの勇士です。神権定員会が一致してともに行動するにはどうすればよいか分かるからです。

ノアは「自分らしくする」ことが大切だと助言しています。

神権を尊ぶ

パトリックは、神権を受けるということは単にその年齢に達したからという理由ではなく、ふさわしくなり、よく備えることが大切だと考えています。パトリックはこう言っています。「12才になったから自動的に神権を受けるというのではなく、よく準備しなければいけないと思います。」

ディランは、備えることがどんなに大切かよく理解しています。聖餐のパスの責任を果たすために霊的に備えようと、15分前には教会に着くように努力して

います。「3,4回聖餐のパスをしました。が、毎回心にみたまを感じ、新鮮な気持ちになります。」とかれは言っています。

ベンは、聖餐のパスをすると最後の晩餐を思い出すと言っています。「イエス様は、最後の晩餐の場におられました。ぼくたちもイエス様と同じところに立っています。それをイエス様も望んでおられると思います。」

神殿に目を向ける

ベンは「神への務め達成賞」を獲得するためにがんばっています。また初めて死者のためのバプテスマを受けるのをとても楽しみにしています。「ぼくはまだ神殿の中に入ったことはありませんが、参入した人たちはいつも神殿に参入すると温かく良い気持ちがあるとあかししています」とベンは言っています。

ノアは、最近神殿に初めて参入しました。定員会の若い男性たちが、家族のように接してくれたと言っています。かれはこう話しています「心配になるかもしれませんが、神殿の中では人々が助けてくれます。自分が温かくむかえ入れられていると実感すると思いますよ。」■



来たれ 主 イエスよ

はつきりと ♩ = 72-84

「^よ世の救い主——^{たんにう}その誕生と^{あつた}復活」の教会作品より

1. か い ば お け の しゅ は や さ し い み か お
 2. へ り く だ る も の に しゅ の あ い そ そ ぎ
 3. あ さ ひ の ご と く に ひ か り か が や き

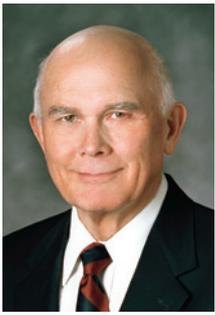
そ の み を ひ く く し て こ の ち に う ま る
 わ が れ い ま ね い て や す ま せ た ま え
 わ が な み だ ぬ ぐ う あ が な い ぬ し よ

や み を は ら っ て ひ か り も た ら す
 ち じょう を お さ め み ち り ぶ く た め に
 ち じょう を お さ め み ち び く た め に

しゅ な る イ エ ス よ わ れ に き た れ
 え い こ う と も に わ れ に き た れ
 え い こ う と も に わ れ に き た れ

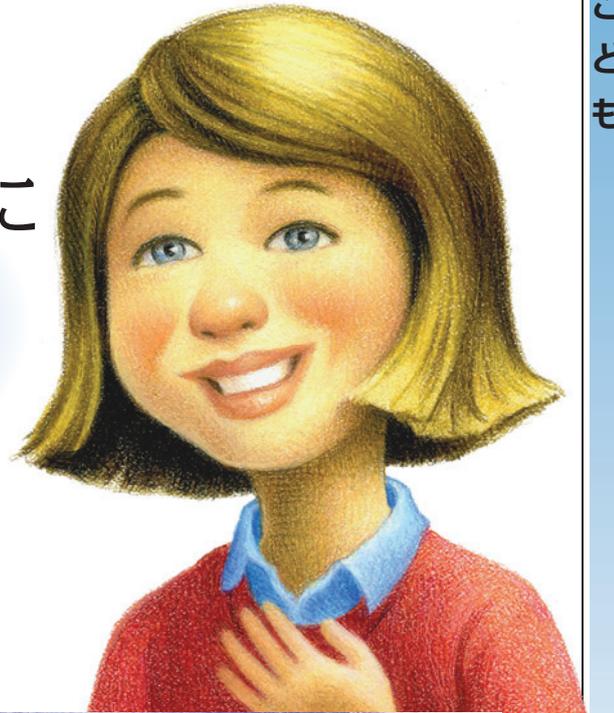
「世の救い主——その誕生と復活」は、
 末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会及び十二使徒定員会の指示の下に作詞・作曲された。

©2003 IRI 版權所有。
 教会あるいは家庭における一時的または非営利目的の使用に限り、複製することを許可する。
 複製の際はこの注意書きを含める。



じゅうに
十二しと
ていじんかい
の
ダリン・H・
オクスちょうろうは
このことについての
おも
思いを つぎのように
はな
話しています。

どこに いても イエス・キリストに ちゅうじつに したがうことは、 なぜ **大切** なのですか？



イエス・キリストは、
たしかにかみの ひとり子、
かみの あいしです。



しゅは たしかに わたしたちの
そうぞうぬしであり、よの 光であり、
つみと しから わたしたちを
すくってくださいる すくいぬしです。



これが 地上に おける
もっとも 大切な ちしきであり、
……みなさんも 自分で
そのことを 知ることが できます。



わたしたちは
イエス・キリストの です。
どちらともいえない ということは、
ありえません。



しんけんの しゅくふくは、 すべての人に あたえられます

ジョセフ・スミスが モルモン書をほんやくしていた時のことです。それを書きとめていた オリバー・カウドリと ジョセフは、一つ分らないことがありました。そこで、森に入っていることにしました。二人がいのっているとき、「天からのししやが光の雲の中をくだって来られ」ました。

この天のししや、バプテスマのヨハネです。このししやはジョセフとオリバーの頭の上に手をおいて、二人にアロンしんけんをさずけました。それから、たがいにバプテスマをほどこすようにめいじたのです。それから間もなく、しとのペテロ、ヤコブ、ヨハネが地上におりて来て、ジョセフとオリバーにメルキゼデクしんけんをさずけました。こうして、かみのしんけんがふたたび地上にかいふくされたのです。(ジョセフ・スミス—歴史1:68-72を見てください。)

しんけんを通して、わたしたちはすばらしいしゅくふくとぎしきをうけることができます。たとえば、父親やふさわしいしんけんしやに



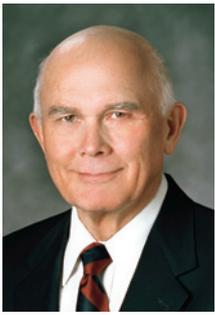
よって、生まれたばかりの赤ちゃんやびょうにん、子どもにしゅくふくがあたえられます。天のお父さまのところに帰るためには、ひつようなしんけんのぎしきもうけなければなりません。水にしずめるバプテスマやせいれいのたまものをうけるぎしきもその一つです。また、かぞくがえいえんにむすびかためられるために、しんでんでしんせいなぎしきをうけます。さらにしんでんでは、ふくいんのしゅくふくをうけずになくなった人たちのためのぎしきも行われます。つまりしんけんのしゅくふくは、すべての人がうけられるのです。■

挿画—右—イラストレベッカ・ミラー。左—メルキゼデク神権の回復。ケネス・ラッシー画。ウオルター・レーン画。

うた 歌と せいく

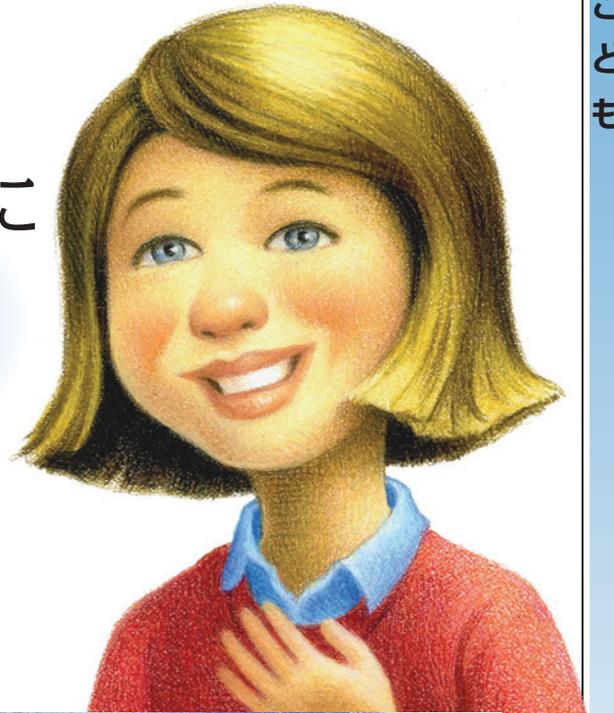
- 『子供の歌集』の中からしんけんについての歌をえらぶ。
- 教義と聖約 84:35





じゅうに
十二しと
ていじんかい
の
ダリン・H・
オクスちょうろうは
このことについての
おも
思いを つぎのように
はな
話しています。

どこに いても イエス・キリストに ちゅうじつに したがうことは、 なぜ **大切** なのですか？



イエス・キリストは、
たしかにかみの ひとり子、
かみの あいしです。



しゅは たしかに わたしたちの
そうぞうぬしであり、よの 光であり、
つみと しから わたしたちを
すくってくださいる すくいぬしです。



これが 地上に おける
もっとも 大切な ちしきであり、
……みなさんも 自分で
そのことを 知ることが できます。



わたしたちは
イエス・キリストの です。
どちらともいえない ということは、
ありえません。



2倍の祝福

マダガスカル、アンタナナリボに住む
ソフィー・A とエロディー・A に会って

教会機関誌

リチャード・M・ロムニー

10才になるふた子のソフィーとエロディーはマダガスカルに住んでいます。マダガスカルは、アフリカおきにうかが大きな島です。この家族にはすばらしい実話があります。「お父さんは初めて宣教師に会ったとき、この教会が真実だと分かったそうです。そしてすぐに改宗しました」とエロディーが話してくれました。お母さんはそれから数か月後にバプテスマを受けました。

二人が生まれる前に、お父さんとお母さんは女の子がさずかるように断食していたのりました。「ところが、女の子は一人じゃなくて二人だったんです」とソフィーは言います。

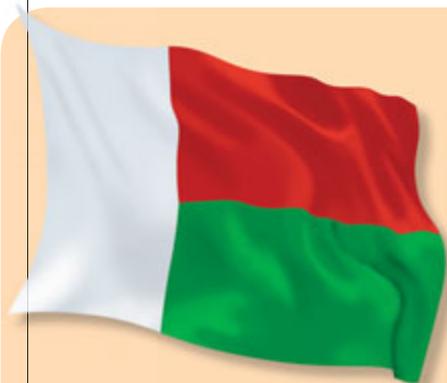
それから祝福はいつも2倍になったのです! ■



ソフィーとエロディーの家族は3年間貯金をしました。南アフリカ・ヨハネスバーグ神殿まで行って家族の結び固めを受けるためです。神殿に行くには、インド洋を横断して2,100キロ以上も旅をしなければなりません。



お母さんは家のとなりに
しんりょう所を開いています。
二人は、そうじをして
しんりょう所をきれいにする
手伝いをしています。



マダガスカルの国旗の白は純潔、
赤は独立、緑は希望を象徴しています。



ソフィーとエロディーは
2ひきのねごを飼っていて、
それをだきしめるのが
大好きです。



マダガスカルには、
キツネザルやカメレオンが
生息しています。



ソフィーとエロディーは、
両親や二人の兄弟、めいと
一緒に家庭の夕べをするのを
楽しみにしています。

家族の写真/リチャード・M・ロビンソン/その他の写真/フレッド・マクドナルド/IRL/ISTOCKPHOTO.COM/GLOBALP/ISTOCKPHOTO.COM/LIPOWSKI

ぼくも バプテスマを うけることは できないの？

「子どもたちは、八さいの ときに つみの ゆるしのための バプテスマを うけ……なければならぬ。」
(教義と聖約 68:27)

「又ノと ミリアム、二人とも イエス・キリストの もはんに したがって、来週の 土曜日に バプテスマを うけますか?」と、シルバしまいが たずねました。

パウロは 自分の 耳を うたがいました。二人の しまいせんきょうしは、10才になる おにいさんと おねえさんだけに バプテスマを うけるように さそったのです。

「うけます! うけます!」と ふたごの二人は 大よろこびで 答えました。

ミリアムは とても うれしくて たまらないようすです。又ノは かた手を 上げて、ロペスしまいの 手に その手を ポンと 当てて よろこびを あらわしました。へやの すみで おおきな 赤い いすに すわっていた おばあさんの 顔も えがおで かがやいています。

ここ 何週間か パウロは、おにいさんたちと いっしょに おばあさんの

家で、しまいせんきょうしから ふくいんを 学んできました。おばあさんの家は、みどりに おおわれた、心地よい風の ふきぬける サオミゲルとうにあります。そのしまは、ポルトガル本土から 1,600キロ はなれた ところにあります。パウロは、おばあさんの家の げんかんにある ドアの 窓をあけて、海から ふいてくる 風をはだで かんじながら、通りを 歩いて 来る ロペスしまいとシルバしまいを見ているのが 大すきでした。二人は ふくいんを 教えに 来てくれるのです。

しまいせんきょうしが、今日は とくべつな レッスを します と言いました。パウロは その いみが 分かっていた。又ノと ミリアムが イエスさまの 教えに したがって、バプテスマを うけることになっていたからです。パウロは 自分も すくいぬしのもはんに したがいたいとおもいました。

「しまいたち、ぼくも こんどの 土曜日に バプテスマを うけられない

かな。」パウロは『モルモン書 ものがたり』を ぎゅっと だきしめながら、ひっしの 思いで たずねました。

シルバしまいは ほほえみながらも 首を ふって こう 言いました。「パウロ、ごめんなさいね。8才に ならないと バプテスマを うけることは できないと しゅは おっしゃっているの。あなたは まだ 6才でしょ。だから 自分の えらぶことに せきにんを もつことが できないのよ。」

「でも、しまいたち」と パウロは ふまんそうに こう 言いました。「ぼくは しまいたちに 教えられたとおりに、かぞくと いっしょに ずっと おいのり しているし、モルモン書も 読んでいる。おばあちゃんや マリオおじさんと 毎週 しょとうきょうかいにも 行っているし。それに 教会が しんじつだってことも 分かっている。それなのに どうして 又ノや ミリアムと いっしょに バプテスマを うけられないの?」

「あなたは いましめを まもって生活しているし、ふくいんも 学んでいて、ほんとうに えらいわね。でも、バプテスマを うけるには あと 2年 またなければ ならないのよ」と ロペスしまいが 言いました。

パウロは のどが つまって、目には なみだが あふれました。パウロはいきおいよく 立ち上がると やねうらべやに 走って行きました。そこは おにいさんたちと ねている へやでした。

少しの間 まくらに 顔を うずめて ないしていると、だれかが かいだんを 上げて来る 足音が 聞こえました。マリオおじさんでした。おじ





さんはパウロのベッドにこしかけてこう言いました。

「パウロ、どうしたんだい?」

「シルバシマイとロペスシマイが、ヌノとミリアムはバプテスマをうけられるけど、ぼくはだめだって言うんだ。ぼくも教会いんになりたいのに! ぼくはせいさん会でさんびかを歌ったり、しょうきょうかいでせいぶんをべんきょうしたりするのが大すきなんだ。ぼくだけおいてきぼりなんていやだよ」とパウロが言いました。

「パウロ、今はバプテスマをうけられなくても、きみは今ではもうりっぱな教会のなかまだよ」とマリオおじさんがやさしく言いました。

「どういうこと?」まくらにはなをおしつけながらパウロはそうたずねました。

するとマリオおじさんはこう答えました。「しょうきょうかいではせいさん会で子どものはっぴょうをするじゅんびをしているのを知っているよね。しょうきょうかいの先

生が、そのはっぴょうの中であかしをしてくれる子どもをさがしていると、言っていたよ。それは、きみが教会のプログラムにさんかする一つのほうほうじゃないかな。」

「そうなの?」パウロはおき上がるとマリオおじさんの顔を見ながらちょっと考えてこう言いました。「ヌノとミリアムのバプテスマ会するときにもぼくあかしができるかもしれぬ。」

「それはすごくいい考えだね! 小さくてまだバプテスマをうけられなくても、きみにはもうあかしがあるんだね」とマリオおじさんが言いました。

ベッドからとび下りたパウロは、おおいそぎでかいだんをかけ下りて行きました。

「パウロ、どこに行くんだい?」とマリオおじさんが大声でよびかけました。

「しまいせんきょうしにあかshiを聞いてもらってれんしゅうするんだ。

ぼく、自分がバプテスマをうけられるまでみんなにあかshiをすることにしたの!」パウロはとてもうれしそうに大きな声でそう答えました。■



「にんたいとは自分からすすんで、まってたえしのぶことです。とちゅうであきらめないで、自分でできるすべてを、おこなうはたらき、きぼうをもち、しんこうをはたらかせることです。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ワークトルフ管長
「忍耐し続ける」
『リアホナ』2010年5月号、
57さんしょう

しつじに ふさわしい ふくそう

ヒラリー・M・ヘンドリックス

じつわを もとに 書かれました。

1. 今日(きょう)は エリ(エリ)の 4才(さい)の たんじょうび(たんじょうび)です。

4年(ねん)後(ご)には バプテスマ(ばぷてすま)を うける(うける)のよ。

それから 4年(ねん)したら しつじ(しつじ)に め(め)されて、 せい(せい)さんを く(く)ば(ば)れる(れる)よう(よう)に なる(なる)んだ(んだ)よ。



2. その(その)後(ご)、 エリ(エリ)が パジャマ(ぱじゃま)を め(め)いで、 教会(きょうかい)に 行く(い)く ふく(ふく)に き(き)が(が)え(え)る(る)の(の)を お母(おかあ)さん(さん)が 手(て) つ(つ)だ(だ)っ(っ)て くれ(くれ)ま(ま)し(し)た(た)。

3.

しつじ(しつじ)に な(な)っ(っ)たら だ(だ)ら(ら)ま(ま)の ひー(ひー)ろー(ろー)み(み)たい(たい)な か(か)っ(っ)こ(こ)い(い)い ず(ず)ぼ(ぼ)ん(ん)を (を) は(は)い(い)て 教会(きょうかい)に 行(い)く(く)の(の)?

い(い)い(い)え、 し(し)つ(つ)じ(じ)は き(き)ち(ち)ん(ん)と(と)し(し)た(た) ず(ず)ぼ(ぼ)ん(ん)を (を) は(は)い(い)て 行(い)く(く)の(の)よ。

4.

じゃあ、 し(し)つ(つ)じ(じ)っ(っ)て ひー(ひー)ろー(ろー)が き(き)る(る)み(み)たい(たい)な シャツ(しゃつ)を (を) き(き)て 教会(きょうかい)に 行(い)く(く)の(の)かな。

い(い)い(い)え、 し(し)つ(つ)じ(じ)は 白(しろ)い(い) シャツ(しゃつ)に ネクタイ(ネクタイ)を (を) し(し)めて 行(い)く(く)の(の)よ。

5.

ぼく、しつじみたいに
 しろい シャツに
 すてきな ネクタイを しめて
 行きたいな。

お母さんは、エリが きちんとした ズボンに
 しろい シャツを きて ネクタイを するのを
 手つだって くれました。



6. 教会では、しつじが せいさんを くばっている
 エリは うでを 組んで その ようすを じっと 見
 っていました。



7. しつじが エリの ところに せいさんを はこんでくれたので、パン
 を 一切れ とって トレイを お母さんに わたしました。

8. お母さんが にっこりと ほほえみました。
 せいさんをお母さんに わたすことが
 できて、エリは とても うれしくなりました。
 自分が しつじに なったよ
 うな 気が したからです。



み 見つけてあげましょう

エリは しつじの ような ふくそを したいと おも 思っています。しつじに ふさわしい ふくそを するのに やく だ 立つものを エリが へやの なかから み つけ だ 出せる ように て 手つだって あげましょう。



いろ
色を めりましょう



わたしたちは しんけんを ^{とお}通して すくいの ぎしきを うけます。

「しゅは ^い言う。『この しんけんを うける すべての ものは、わたしを ^いうけ入れるのである。』」
(^{きょうぎ}教義と^{せいやく}聖約 84:35)

教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は news.lds.org にアクセスしてください。

家族歴史という神殿活動につながるブラジルの青少年

教会のニュースと出来事
メリッサ・メルル

ホセ・A・モスカオ兄弟は、ブラジル・カンピーナス神殿に参入する青少年が何時間も「何もすることがない時間」がよくあることに気づいていた。

神殿に隣接している家族歴史センターのディレクターを務めるモスカオ兄弟は、多くの青少年が神殿に参入するために長距離移動をしなければならないので、大型ワゴン車でやって来て数日滞在することを知っていた。バプテスマのセッションの合間や、食事の合間、他の神殿の儀式に参加している両親や指導者を待たなければならない時間が生じるのはどうしようもなかった。

しかし彼は空き時間はいつでも神殿の敷地内を散策できるという選択肢を青少年に提供できるかもしれないと考えた。

そのように彼は提案した。

招き

彼は青少年をセンターに招いてファミリーサーチ索引作成を教え始めた。

初めは恥ずかしがったり気が進まない青少年もいた。しかし暗闇から人々を救い出し、生ける預言者の言葉に従って彼らの名前を明らかにすることについてモスカオ兄弟が青少年に話すと、彼らの心は動かされたと言ったモスカオ兄弟は語る（デビッド・A・ベドナー「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』および『エンサイン』2011年11月号、24-27参照）。

神殿と家族歴史センターが同じ敷地内にあることは意義深い。神殿と家族歴史活動が一つの偉大な業の両輪を成しているということを物理的にも強調している。神殿管轄地域内の青少年はまさにそのことを学び始めているとブラジル・カンピーナス

神殿のジョージ・A・オックス神殿会長は語る。

「家族歴史と索引作成に青少年がかかわることを強調する前は、彼らの神殿参入の目的はおもに死者のためのバプテスマを受けることでした。現在索引作成は彼らが担当する務めとなります」と神殿会長は語る。

最初の経験

青少年がセンターに入ってくる時、モスカオ兄弟とセンターのボランティア宣教師が短い略式のオリエンテーションをして以下の原則を教える。

- 彼らがシオン山の救い手となっている（オバデアヤ 1：21 参照）。
- 彼らは預言者の呼びかけに注意を向けている（「子孫の心は向かうであろう」参照）。
- 青少年は暗闇から人々を救っている。長く忘れ去られていたフィルムの暗闇や登記所や教会のほこりだらけの書籍の暗闇から人々を救い出している。索引作成によってその人たちの名前が明らかになり、検索可能な状態になると、家族はその名前を見つけることができる。
- この業に参加するとき、青少年は「永遠の福音に属するすべての事項の中で最も栄光あるこの事柄、すなわち死者のためのバプテスマ」のもう一つの側面に参加することになる（教義と聖約 128：17）。
- 彼らは死者の贖いという偉大な業に自分の時間を使い、それによって家族も祝福を受ける。
- わたしたちは皆神の家族の一員である。だから自分たちが知らない人々の名前を索引化することは、自分たちの家族を助けているということだ。



神殿団体参入の間、
ブラジル・
カンピーナス神殿
管轄内の青少年は
バプテスマの
セッションの合間に
ファミリーサーチ
索引作成に参加する。

- 彼らは索引作成に参加する方法を理解すると、自分たちの家族やワードや支部のほかの若い人たちにも参加するよう教える機会がある。

モスカオ兄弟と宣教師たちはセンターのコンピューターを使って青少年に索引作成の始め方や家に戻ったときにソフトをインストールして利用する方法を教える。いったん理解すると彼らは「ほかのどんな力も借りずに索引作りを始めます」とモスカオ兄弟は語る。

業に対する熱心さ

数字はその熱心さの表れである。2012年の最初の2か月で、訪問者によって索引化された名前は6,370名に上る。うち3,305名分は12歳から18歳の青少年によって索引化された。実際、索引作りへの関心が高まったのを受けて、カンピーナス家族歴史センターは通常の午前8時から午後6時という開館時間を延長し、午後10時まで開館している。

しかし青少年は神殿を去るときに索引作成を後に残して行かない。家に帰ると、彼らは自分たちの割り当てを継続する。モスカオ兄弟は彼らを「現在教会が擁する17万人以上の活発な索引作成兵士」と呼んでいる。索引作成をすることに

よって、多くの青少年が「神への務め」や「成長するわたし」プログラムの目標を達成している。

善に誘うもの

今年の初めにブラジル・エスピリトサント、ビラベリャのイザベラ・A（16歳）は母と妹と一緒に神殿に参入した。参入最終日は彼女の祖母が他界してちょうど1年たった日だった。その祖母のためにイザベラはバプテスマを受け、イザベラの母親は神殿のほかの儀式を受けた。

「この参入の期間に何か善いことをする必要があったと感じていました。わたしは索引作成を学びたいと思っていました。そしてホセ・モスカオ兄弟から助けを受けることができました。

その後、わたしの祖母のためのバプテスマを受けたとき、御霊はわたしの心の奥底にまで注がれました。幕のかなたには大勢の人たちが果てしなく長い時間待っており、わたしの助けを必要としていることを知りました。また少しでも奉仕の時間をささげられることや、この人たちのためにしてあげられることが沢山あることが分かりました。索引作成は愛の働きです」とイザベラは語る。■

この話についてさらに知りたい場合は news.lds.org にアクセスしてください。■

インドで最初の ステーキが 組織される

インド・バンガロール伝道部
E・ジャック長老および
パメラ・ケラーストラス姉妹

2012年5月27日、国内初のステーキであるインド・ハイデラーバードステーキ設立に当たり、ハイデラーバード・ノボテルコンベンションセンターに1,500人以

上の会員と友人が集うと、興奮と感謝がみなぎっているのがはっきりと分かった。十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老が管理し、七十人会長会のドナルド・L・ホールストロム長老とアジア地域会長会で七十人のアンソニー・D・パーキンズ長老が同行し、指導者はそれぞれ夫人とともに大会に参加した。

ジョン・ガッティーがステーキ会長として、スレシュ・ナタラジャンが第一顧問、ラジャラトラム・ブシが第二顧問として支持された。インドで最初の祝福師は

前地方部会長であったパラサド・ラオ・ガダイ兄弟である。

インドにおける過去最大の聖徒たちの集会が始まると、インド・バンガロール伝道部のランディー・D・ファンク会長は「この歴史的

新たに設立されたインド・ハイデラーバードステーキのステーキ会長会
(左から右に) 第一顧問・スレシュ・ナタラジャン、
ステーキ会長・ジョン・ガッティー、第二顧問・ラジャラトラム・ブシ



インドで最初のステーキが設立されるに当たり、インド、ネパール、スリランカからおよそ600人のヤングシングルアダルトが大会に集った。



写真/シエームス・ダリソル

な日にふさわしい輝かしい光景です。わたしたちはこの日をいつまでも記憶にとどめておくことでしょう。主の使徒がここにいたことも忘れないでしょう」と語った。

パーキンス長老はアジア地域会長会からのインドの会員たちへの愛を伝え、「この地でのすばらしい業の始まりをわたしたちは目にしています。教会は成長し、永遠の福音の原則に従ってステークが組織され、神権組織が確立されました」と語った。

パーキンス長老が新しいステーク会長会の召しに対して第二の証人になったことを述べると、ホールストロム長老が新しいステーク指導者が選ばれるまでの靈感に満ちた過程を説明した。七十人の会員として、彼は割り当てを受け、偏見や先入観を持たずにこの地にやって来たと述べた。彼は主の方法で訪れ、主の御霊に頼って啓示を受けた。「主の御心はガッティー会長がステーク会長になるということなのです」とホールストロム長老は語った。

夫に同行していたクリステン・オークス姉妹は子供たちに教えることについて語り、子供たちが信じるようになるには「母たちがそれを知っていた（ことによる）」と語った（アルマ 56：48 参照）。

大会の最終話者となったオークス長老は、宗教の自由を認め、教会員が「集会を開き、信仰の原則を語ることを許可してくれたインド政府に感謝を表明した。

オークス長老は、召された指導者たちは主によって備えられ、選ばれたという御霊の証を受け、たことを証した。さらにステークの新しい責任についても語った。

オークス長老は、旧約聖書の中で預言者イザヤがイスラエルを天幕にたとえ、その天幕がイスラエルの子供たちを守ったことを引用し、「今日の教会は天幕です。

通して与えられるか宣言します。さらに祝福師の祝福はわたしたちが忠実であるなら受けられる祝福と約束を宣言するものです」とオークス長老は語った。

「インドの教会が成長を続けていくと、預言者がインドに神殿を建てるよう靈感を受ける時が来ます。設立されたすべてのステークが神殿建設のために条件

インド・
ハイデラーバードの
訪問で
オークス長老と
他の教会指導者は
インド、ネパール、
スリランカから集った
数百名の会員と
集会を開いた。



わたしたちは皆天幕が杭によって支えられなければならないことを知っています。現在ハイデラーバードはシオンの杭となったので、皆さんは発展して什分の一や伝道活動を通じてさらに大きな支えを提供していくことが期待されています」と語った。

ステークが組織された結果、ハイデラーバードの会員は祝福師の祝福を受けられるようになる。オークス長老は「個人の聖典」としての祝福文について言及し、祝福師の祝福で述べられる事柄について説明した。

「祝福師の祝福は偉大な祝福がイスラエルのどの部族の血統を

を整えます。人々がふさわしさと決意を示すことによって、神殿がもたらされるのです」とオークス長老は語った。

会の締めくりにオークス長老は祝福を残した。「インドという偉大な国のこの最初のステークにおいて、皆さんがこのときに教えられたことをいつまでも覚えていられるように祝福します。皆さんがバプテスマを受けたときに交わした聖約をいつまでも覚えていられるように祝福します。また皆さんが主の戒めを守るという記憶と決意をもって主の祝福を享受できるように祝福します。」■

フィリピンの新宣教師訓練センターを 奉献する十二使徒

2012年5月20日、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が奉献したフィリピン宣教師訓練センターはフィリピン、カンボジア、香港、インド、インドネシア、モンゴル、パキスタン、スリランカ、台湾、タイから来る144人の宣教師を収容することが可能である。これらの宣教師は自分の国の言語で訓練を受ける。

新しいセンターの二つの建物には講堂、通訳ブース、コンピューターラボ、洗濯室、視聴覚教室、宣教師の寝室、教室、事務室などの施設が備えられている。

新しい施設を奉献する祈りの中で、ネルソン長老はイエス・キリストの贖いと主を愛し主に仕える忠実な宣教師と世界中の教会員に感謝を述べた。ネルソン長老はすべての主の僕に「歓迎の門戸を開き続けてくれる」フィリピン共和国への祝福を求め、フィリピンの国民に「物質的にも霊的にも義において成長する自由と責任」が祝福されるよう祈った。

新しいフィリピン宣教師訓練センターではフィリピン、カンボジア、香港、インド、インドネシア、モンゴル、パキスタン、スリランカ、台湾、タイからきた144人に上る宣教師が自分の国の言語で訓練を受ける。



ブラジル・マナウス神殿、 教会では138番目、 ブラジルでは6番目の神殿となる

2012年6月10日、大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長は、世界で138番目、ブラジルでは6番目となるブラジル・マナウス神殿を奉献した。

100万人以上の会員がいるブラジルは、末日聖徒の信仰と決意をアマゾン川の深く力強い流れにたとえることができるとウークトドルフ管長は語った。

およそ20年間、主要河川と熱帯雨林に隣接したマナウスの教会員は大型バスに乗ってブラジル・サンパウロの神殿に参入していた。それは往復15日間のポートとバスによる長旅であった。その後バスで8日かけてベネズエラ・カラカスの神殿に参入するようになった。

七十人のクラウディオ・R・M・コスタ長老は1990年にブラジル・マナウス伝道部が開設したときに伝道部会長として奉仕した。

「わたしはマナウス神殿が毎日とても

忙しくなると確信しています。その理由はこの人々が神殿を愛しているからです。彼らは神殿を愛するように子供たちに教えています。神殿は彼らにとってとても大切なものなのです」とコスタ長老は語る。

サモア第一ステークの教会員 独立記念50周年を祝う

2012年6月1日金曜日、およそ350人のサモアの末日聖徒が他のサモア市民とともに独立記念パレードに参加し、アピアの様々な通りを行進した。50年前の1962年、サモアはニュージーランドからの独立を果たした。

市民団体、学校、地元の教会、国際組織も参加した。末日聖徒の学生はマーチングバンドとともに数万人の観衆を楽しませる出し物をした。

しかしサモアの末日聖徒にとってはもう一つの祝賀行事があった。サモアで最初のステークがアピアに組織されたのも50年前であった。

6月3日日曜日、七十人で太平洋地域会長会の一員でもあるジェームズ・J・ハムラ長老とケビン・W・ピアソン長老が特別集会で末日聖徒と来賓に話し、その模様は国内の末日聖徒の集会所に放送された。

将来を見据えて、サモアの末日聖徒はたゆまず家族、村落、国家に仕え、それらを強めることを目標にしていると地域会長を務めるハムラ長老は語る。「わたしたちは教会としてサモアですばらしい成長を遂げており、イエス・キリストの教えと模範に従うことを求めているので家族としても個人の生活においても成長し続けているのです。」■

わたしの証を築くもの

1967年からわたしは熱心に『リアホナ』を読んで研究してきました。それはわたしの霊的成長に役立っています。とても啓発され、主の御霊のささやきを感じ、福音の証が築かれるので毎月その機関誌が届くの待ちわびています。特に「天の父母を敬い、模範に従う」（『リアホナ』2012年2月号、80）が好きです。わたしもグラフィックデザイナーなので、その著者が述べていたことに共感することができました。

ファビオ・ファジャルド（コロンビア）

教師と友人

わたしは『リアホナ』が大好きです。それはわたしを教え、わたしを支え、生活を正してくれます。朝、良いことを読んだ日は、一日中より良い人になろうとします。その機関誌を読むとわたしの愛と信仰はより強められます。わたしはまた、『リアホナ』を友人たちにプレゼントします。このような良い「教師」と「友人」にとっても感謝しています。

アナスターシア・ナプラスニコバ（ウクライナ）

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org までお寄せください。掲載されるお手紙は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。■



今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「**賢明な生活はわたしたちを将来に備えてくれる**」12ページ——記事の中で述べられている、自立できるようになる6つの領域を読んでください。これらの領域で自立する力を伸ばしていくことによって避けられる緊急事態や問題とは何ですか。家族とともに祈りの気持ちでその中のどの領域を向上させる必要があるか考え、その領域の中で自立する力を増し加えるための目標を設定するよう促してください。

「**不道徳な世界における純潔**」42ページ——家族と一緒に記事の中で問いかけられている疑問について話し合ってください。あなたの純潔に関する証を強めた原則や経験を分かち合うのもよいでしょう。その記事に記されている助言を応用する方法を話し合ってください。

「**知識と知恵と友情を深める**」48ページ——まずヘイルズ長老の、良い友人を選ぶための判断基準を読みます。良い友人となることの重要性を話し合うのもよいでしょう。家族一人一人により良い友人になるための3つの方法を考えるよう勧めてください。

「**後輩のあなたへ**」60ページおよび「**人生の新しい季節を喜んでむかえる**」61ページ——この初等協会の子供たちと彼らが若い女性や若い男性に移行する準備をどのように行っているか読んでください。家族として、これらの子供たちが準備するために何をしたのか話し合うのもよいでしょう。家族と一緒に『成長するわたし』や『神への務め』の小冊子を読み、彼らが将来達成したいと思っている活動を見つけるよう勧めてください。

ある家庭の夕べ、二つのレッスン

ある晩わたしの両親と母方の祖父母が家庭の夕べに訪れました。わたしの3人の子供は参加するのが大好きで、この日の夜は7歳の息子がレッスンをやる番でした。わたしたちは小さなホワイトボードを準備し、創造に関する絵をはり、彼が教えたいと思っていることを研究し復習しました。わたしの息子は準備ができて興奮していました。

レッスンの間、わたしたち全員が息子の説明していることに注意深く耳を傾けました。彼がレッスンを終わると間もなく3歳になるサミュエルもレッスンをするといいました。それで彼は絵とホワイトボードを取り、再びテーブルの上に置きました。

柔らかい声と時折おぼつかない発音でサミュエルはわたしたちに家庭の夕べのレッスンをしました。彼は準備はしていませんでしたが、ずっと聞いていたのです。彼はわたしたちに地球がどのように創造され、イエス・キリストがわたしたち一人一人に抱いている愛について教えてくれました。

ただ兄のまねをしているだけでしたが、彼がいとも簡単にレッスンを教えたことにわたしたちは驚きました。わたしの両親と祖父母は驚き喜んでいました。わたしたちは皆この小さな子供たちが福音に対して抱いている愛とイエス・キリストが彼らに対して抱いておられる愛を知ることができます。■

リズベス・サンチェス・ファハルド（メキシコ）

良いことは 続けてやって来る

ケイトリン・A・ラッシュ

それはいつもと変わらない金曜日の夜でした。映画を見た後、わたしの部屋で仲のよい友達と座り込んで、時には静かに話をしたり、大声で笑ったりしていたときのことで。充足感にあふれた雰囲気の中で、部屋のあちこちで飛び交う会話を耳にしながら、わたしは思わずほほえんでいました。中には知り合ってから1か月足らずの人もいましたし、生まれてからこの方25年のつきあいの友達もいました。

昔なじみの友達の一人と、数年前にさかのぼって大学時代の友達との思い出話をしていたときのことで。話しているうちにそのころの友達のことがとても懐かしく思えて、どんなに楽しい時を過ごし、親密な関係にあったかを思い返していました。今はみんな卒業してそれぞれが世界のあちこちに散り、当時は思ってもみなかった環境にいます。一瞬喪失感に襲われてため息をつき、部屋中を見回すと、そこにはみんなの笑顔がありました。そのとき突然一つの考えが浮かんだのです。それは、「良いことは続けてやって来る」というものでした。

この何げない考え方が、実はわたしにとってとても意義深いものだったのです。それというのも、わたしは変化に直面する度に葛藤^{かっとう}し、良いことがそのまま続いてくれたらと思うのです。精いっぱい生きている喜びの時を少しでも延ばしたいあまり、現在のことを過ぎたことのように寂しく感じてしまいます。良いことがあると、それがずっと続いて絶対になくならないようにと思ってしまう。あの楽しくゆったりとした金曜日の夜も、そんな楽しいひとときでした。何か良いことがあるとすぐに、すべては浮き草のよう



現在が
たちまち過去に
なってしまうと
寂しく感じる
わたしにとって、
単にその時を楽しみ、
未来に
希望を抱くことを
知ることができて
感謝しています。

に、やがては時や変化に押し流されてしまうと考え始めてしまいます。

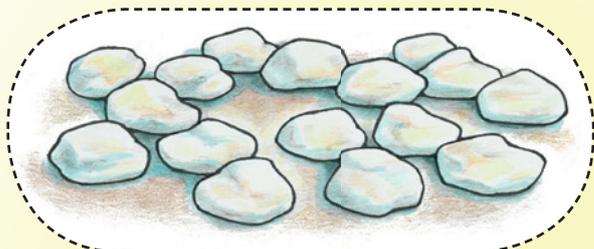
でも、その夜だけはそのような気持ちにはなりません。愛する人たちに囲まれて静かに腰を下ろしながら、わたしはこう思いました。良いことが自然に終わりを迎えて、将来大変なことがいろいろ待ち受けているのが間違いないとしても、良いことは続けてやって来る。そして自分がその気にさえなれば、いつも良いことは続けてやって来ると思ったのです。愛する人々がそれぞれの道を進んで、自分から離れて行ったとしても、新しく出会うすばらしい人々があるに違いないと、わたしは思いました。

時として、先に進み続けるのが難しいことがあります。しかしわたしたちは前進しなければなりません。前進することは、友達を忘れるとか、思い出を無理に消し去ろうとすることではありません。心を開いて、もっと楽しいことや豊かな経験を積むことを待ち望むのです。

あの金曜日の数週間後、ヤングアダルト支部の会長会が解任されました。小さな支部に在籍した経験のある人ならお分かりになると思いますが、愛と信頼をはぐくみ、頼りにしてきた神権者とその伴侶^{ほんりよ}が支部からいなくなったらどうなるのだろうと考えると、とても大変でした。そこでわたしは目を閉じて、あの金曜日に心に浮かんだ「良いことは続けてやって来る」という言葉を心の中で何度も繰り返しました。すると心が穏やかになって、変化に対応すべく心の準備ができたのです。

変わるといことは、主の御心^{みこころ}になかった方法です。主は、わたしたちが人生を楽しみ、成長して、意欲的に前進することを望んでおられます。人生は旅のようなものです。現在を楽しみ、必ずやって来るチャレンジに備えつつ、わたしたちは前進しなければなりません。常に楽観的に物事をとらえ、心を開いて様々な経験に立ち向かうならば、その先には必ず良いことが待ち受けているのです。■

今 年の『リアホナ』には モルモン書に とうじょうする じんぶつなどの 絵の セットが た たくさん もりこまれます。じょうぶで つかいやすく するために、それぞれの 絵を 切りぬ き、ボール紙や あつ紙、 小さな 紙ぶくろ、または 工作用の ほうに、 のりか テープで はってください。ふうとうや ふくろに それを まとめて しまっておきましょう。そのとき、その じん ぶつなどが モルモン書の どこに 出てくるか 分かるように ラベルを はっておくと よいでしょう。



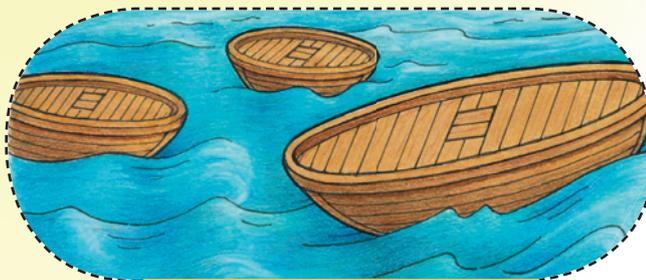
いし
石



イエス・キリスト



ヤレドの 兄弟
きょうだい



ふね

ヤレドのたみ やくそくの 地に みちびかれる
エテル書だい1しょう3せつ, 6せつ



大管長会と十二使徒定員会は
「実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、^{ゆる}赦し、
尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり
確立され、維持されます」と教えています。
（『家族——世界への宣言』）。
生活や家族の中でこれらの原則を応用するためのアイデアは、
4, 16, 20, 22 ページを参照してください。